

彩の国
埼玉県

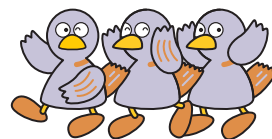
ホームページ版
(道徳教材12篇収録)

明日をめざして

高校生のための「人間としての在り方生き方に関する教育」


目次 「明日をめざして」 高校生のための「人間としての在り方生き方に関する教育」

	We Love SAITAMA!	1
1	階段の踊り場 ～「石川 遼」物語～ (夢や目標の実現)	埼玉県教育委員会..... 3
2	躍動 ～情熱が限界の壁を突き破る～ (困難を克服する強さ)	小松成美..... 7
3	高校入学をきっかけに (自律の精神)	埼玉県立高等学校生徒作文..... 11
4	妥協しない姿勢 (夢や目標の実現)	中村俊輔..... 13
	Break Time スポーツ、感動ストーリー！	16
5	習慣が人をつくる (望ましい生活習慣)	埼玉県教育委員会..... 17
6	ケータイを手放せない？ (節度・節制)	柳田邦男..... 19
7	言葉に心を込めて (人間愛・礼儀)	小松政夫..... 21
8	後味の悪い再会 (信頼・友情)	埼玉県教育委員会..... 23
	Break Time こんなとき、どうしよう？	25
9	危ないとわかっているけど・・・ (法やままりの遵守)	埼玉県教育委員会..... 26
10	ゴミを拾うことで得られるもの (公德心・社会連帯)	埼玉県教育委員会..... 29
11	幸せは「衣食住」か (自律の精神)	三木 卓..... 32
12	投げ出すこと、やめることとは違います (夢や目標の実現)	NHK「トップランナー」制作班 ... 35
13	開拓者 ～困難があるから打ち破る・荻野吟子～ (人生を切り拓く)	埼玉県教育委員会..... 38
	Break Time 埼玉ゆかりの三偉人 ～荻野吟子～	41
14	アツヒト ～国際貢献に取り組んだある青年の物語～ (国際貢献)	埼玉県教育委員会..... 43
15	プラス思考 (生命尊重)	すずらんの会..... 45
16	もう逃げない (人生を切り拓く)	埼玉県立高等学校生徒作文..... 48
17	学問への道 ～塙保己一～ (夢や目標の実現)	埼玉県教育委員会..... 51
	Break Time 埼玉ゆかりの三偉人 ～塙保己一～	54
18	「優先座席復活」と「江戸しぐさ」 (礼儀・思いやり)	埼玉県教育委員会..... 55
19	心温まるラブレター (異性の尊重と理解)	住友信託銀行..... 57



埼玉県のマスコット コバトン

	20	田植えと源さん (勤労観・感謝)	埼玉県立高等学校生徒作文……………	59
		Break Time はぐくもう！豊かな人間性や社会性！	……………	62
	21	科学技術 ～その光と影～ (人類の幸福への貢献)	埼玉県教育委員会……………	63
	22	初めて海外へ飛行した女性 ～西崎キク～ (夢や目標の実現)	埼玉県教育委員会……………	67
	23	お礼というボランティア (奉仕の精神・感謝)	埼玉県立高等学校生徒作文……………	71
	24	見えない相手 (自律の精神)	埼玉県立高等学校生徒作文……………	73
		Break Time STOP！ネットいじめ	……………	75
	25	世界に誇れる知恵の遺産 (伝統文化の継承)	羽生善治……………	76
	26	信じ続ければ、夢は必ず叶う (夢や目標の実現)	埼玉県立高等学校教諭……………	79
	27	動物は、相手の命を守る最低のルールを知っているのか？ (生命尊重)	埼玉県教育委員会……………	83
	28	誠の心 ～渋沢栄一物語～ (差別・偏見のない社会の実現) (社会貢献)	埼玉県教育委員会……………	85
		Break Time 埼玉ゆかりの三偉人 ～渋沢栄一～	……………	90
	29	月面に降り立たなかった男 (集団の意義・役割・責任)	埼玉県教育委員会……………	91
	30	一瞬一瞬を楽しんで (家族愛)	あさのあつこ……………	93
	31	法の整備はどこまで必要か？ (規則の尊重・社会の秩序と規律)	埼玉県教育委員会……………	95
		Break Time 大丈夫？ あなたの規範意識！	……………	97
	32	呼び戻した蛍 (郷土愛)	埼玉県教育委員会……………	98
	33	心のほっとレター ～公德心を考えよう～ (社会連帯・公德心)	埼玉県教育委員会……………	101
	34	心の扉が開くとき (集団の意義・役割・責任)	埼玉県立特別支援学校教諭……………	103
	35	首賭け銀杏 ～日本の公園の父 本多静六博士～ (夢や目標の実現)	埼玉県教育委員会……………	107
	36	働く姿を見て (勤労の尊さ・奉仕の精神)	埼玉県立高等学校生徒作文……………	111
		Break Time 素直が一番 ～シドニー五輪女子マラソン金メダリスト 高橋尚子～	……………	113
	37	他者の他者 ～キェルケゴール～ (自律・自己の在り方)	鷺田清一……………	115
	38	「地球」をすばらしい星にするために (人類の幸福・環境)	Severn Cullis-Suzuki ……	117
		 埼玉県の高校生が選んだ心に残る本の紹介	……………	123

*  は収録されている内容です。

We Love SAITAMA!

埼玉県は関東平野の内部に位置する内陸県で、東経 138 度 42 分から 139 度 54 分、北緯 35 度 45 分から 36 度 17 分に位置しています。

東西に約 103km、南北に約 52km、面積はおよそ 3,800k m²で、山地面積がおよそ 3 分の 1、残りの 3 分の 2 を平地が占めています。この広さは国土の約 100 分の 1 に当たり、全国で 39 番目の大きさとなっています。

県章



埼玉県の県章は、まが玉 16 個を円形にならべたものです。まが玉は、古代人が装飾品などとして大切にしていたもの。埼玉県名の由来である「幸魂（さきみたま）」の「魂」は、「玉」の意味でもあり、まが玉は、埼玉県にゆかりの深いものとなっています。また、まが玉を円形に配置したデザインは、「太陽」「発展」「情熱」「力強さ」を表しています。県旗は県章を白地に赤く染め抜いたもので、昭和 39 年 9 月 1 日に制定されました。

県民の鳥「シラコバト」

ハト科に属しシラコバト、ノバトなどとも呼ばれ、山鳩（キジバト）の仲間ですが、やや小型で尾だけが長く、ほっそりしています。首に黒い横線が走っているのが特徴で、国内では、主に本県の東部地域を中心に生息しています。国の天然記念物に指定されていて、昭和 40 年 11 月 3 日に「県民の鳥」に指定されました。



県の木「ケヤキ」



ニレ科の落葉樹で春に新しい葉とともに、うすい黄緑色の小さな花が咲きます。県内に古くから自生し、「清河寺の大ケヤキ（さいたま市）」をはじめ、各地に県の天然記念物に指定されたケヤキがあります。昭和 41 年 9 月 5 日に「県の木」に指定されました。

県の花「サクラソウ」



サクラソウ科に属する多年草で、川のほとりや野原に自生し、春先にハート形の花びらの花を咲かせます。北海道南部から、四国沿岸まで分布し、県内でも、かつては荒川沿岸に広く自生していました。田島ヶ原（さいたま市）の自生地は、今も昔ながらの面影を残し、国の特別天然記念物になっています。昭和 46 年 11 月 5 日に「県の花」に指定されました。

県の蝶「ミドリシジミ」



シジミチョウ科に属し、ハンノキやヤマハンノキの葉を食べます。埼玉県には、ハンノキが幅広く分布しているため、県内に広く生息しています。大きさは約 4 センチメートル。夏の夕方、羽根をキラキラと緑色に輝かせて飛びます。平成 3 年 11 月 14 日に「県の蝶」に指定されました。

県の魚「ムサシトミヨ」

トゲウオ科の淡水魚で、清く澄んだ小川に生息しています。現在では、熊谷市の元荒川上流部でしか見られなくなり、その生息地の一部が、県の天然記念物に指定されています。大きさは、4~6 センチメートル。オスが巣を作り、子育てをします。平成 3 年 11 月 14 日に「県の魚」に指定されました。



埼玉県歌

作詞 岸上のぶと
補作 神保光太郎
作曲 明本 京静

- 一、 秩父の雲の ちらさきに
風もみどりの むさし野よ
恵み豊かな この山河
われら生まれて ここにあり
おお 埼玉 埼玉 輝く埼玉
- 二、 古き伝統 新しき
生命をこめて しあわせの
未来をひらく この文化
われらつどいて ここにあり
おお 埼玉 埼玉 輝く埼玉
- 三、 日に日に進む 産業に
こぞるちからも たくましく
希望はもえる このあした
われら明るく ここにあり
おお 埼玉 埼玉 輝く埼玉
- 四、 北に大利根 荒川は
南をめぐり 人和して
県旗はまがたま この理想
われららかつて ここにあり
おお 埼玉 埼玉 輝く埼玉



埼玉県が日本一！

最高気温	熊谷市では2007年8月16日に最高気温40.9℃が観測されました。これは日本国内で観測された中では最も高い値なんです！
アイスクリーム	埼玉県はアイスクリームの出荷額が全国第1位（391億1,900万円）。ところで、アイスクリームには賞味期限がないって知ってました？
シャープペンシル	埼玉県はシャープペンシルの出荷額が45億5,600万円と全国第1位。勉強するなら埼玉県！
火災報知器	埼玉県は火災報知設備の出荷額が176億4,900万円と全国第1位。「安心・安全」のために是非準備しておきたいですね。
中華麺	埼玉県は中華麺の出荷額が214億900万円と日本一なんです。ラーメンもいいけど冷やし中華も美味しいですよ！
双眼鏡	埼玉県の双眼鏡出荷額は22億2,500万円と全国第1位！ トラスト保全地で鳥たちのいきいきした姿をバードウォッチング！
生産年齢人口の割合	15歳から64歳までの人口を「生産年齢人口」と言います。埼玉県はこの生産年齢人口の割合が69.4パーセントと日本一高い！
自主防犯活動グループ	自治体やPTAなどが中心となって、地域のパトロールを行う自主防犯活動グループ。埼玉県内のグループ数は4,390団体と全国第1位！
丸墓山古墳	行田市の「埼玉古墳群」にある「丸墓山古墳」は直径105メートル。円墳としては日本最大の大きさ！埼玉の古代人のパワーにビックリ！
埼玉スタジアム2002	浦和レッズの本拠地「埼玉スタジアム2002」は、サッカー専用スタジアムとしては日本一の収容人数を誇ります。
木製水車	さいたま川の博物館（寄居町）のシンボルとなっている大水車は、直径23メートル。木製の水輪を持つ水車としては日本最大級の大きさです。
川の面積	埼玉県は、県土全体に占める河川の面積の割合が3.9%に達し、この割合は、日本一！埼玉県は水辺環境に恵まれた「川の国」です。

埼玉県ホームページ『埼玉県の「意外」・「なるほど」』より

3 高校入学をきっかけに

私は小学校2年生の3学期から中学1年生までの約5年間を韓国で過ごしました。韓国語の勉強のためです。現地には、母方の祖父母や親戚がいました。私は叔母の家で生活することになりました。

学校は日本人学校に通うことになりました。日本人学校とは海外で仕事をしている日本人の子供たちのための学校です。日本人学校は日本と同じ勉強をします。もちろん日本語です。日本の学校と少し違うのは週一回、韓国語の授業があることです。初級・中級・上級の3つのコースに分かれ、初級は簡単な単語や会話、中級は少しの文章を書いたり読んだり、上級は本を読み、文章を書き、会話は韓国語。私は韓国語の授業が好きでした。たまにあるテスト以外は。私は毎日学校に行くことが楽しみでした。たくさんの友達に会えるからです。友達に会っておしゃべりをしたり、ふざけあったり……。毎日があっという間に過ぎていきました。

そして、中学2年生の春、私は日本に戻ってきました。家の近くの中学校に通うことになりました。初めて教室に入った時から驚きの連続でした。先生が話をしているのにゲームをしている人、後ろを向いて話をしている人、私には考えられませんでした。授業中にも私語が絶えない人や授業を受ける態度でない人もいて、目を覆いたくなるような光景でした。韓国の日本人学校では考えられませんでした。今では少し慣れてきましたが、少なくとも当時の私には大きなショックでした。

その他にも服装の乱れ、腰パンでズボンの裾をズルズル引きずっている男子、女子同士のスカートめくりやジャージのズボン下ろしなど、理解できないことがとても多かったのです。その他にも小さなことでいろいろとカルチャーショックを受けたことを覚えています。毎日のように前の学校と比較していました。「気にしない。」と自分に言い聞かせるようにもしました。けれど、なかなかできませんでした。引っ込み思案な性格もあって、クラスの人達に話しかけようにも話しかけられず、「迷惑だったらどうしよう。」と考えてなかなか友達ができませんでした。友達は同じ部活の2、3人だけでした。いつまでもクラスに馴染めず1人だけ浮いているように思えて、だんだん学校に行くことが嫌になってきました。学校へ行くと吐き気がして、息が詰まりそうでした。家の中でも問題があり休むことが多くなりました。

2年生の前半までは頑張っていました。一気に爆発し、後半から不登校になってしまいました。たまに何時間か授業に出るだけでした。3年生になってもなかなか学校には行けませんでした。「学校に行かなくちゃ、学校に行かなくちゃ……。」でも「行きたくない、行きたくない……。」泥沼のように抜け出せずに苦しかったです。自分が何をしているのか、なぜ生きているのか、自分の存在が何なのか、わからなくなりました。ただ一人で悩むだけでした。とうとう卒業式にさえ出られませんでした。こうして中学校生活は終わりました。

そして、高校に入学しました。その高校が家から近いこと、不登校でも受け入れてもらえ

そんなことが選択の理由でした。でも、私のなかでは、環境が変わることをいい機会にしようと思っていました。ただ漠然と生活していたらまた同じことになってしまう。

そこで、2つの目標をたてました。「高校は単位が取れなければ留年。休むことがないように、不登校には絶対ならない。」「小学校から持っていた、大学に進学するという夢を実現させる。」、このシンプルな目標が、周りを気にすることなく、自分らしくいられるようになってくれたと思います。自分なりの目標が、私の目を前に向かせてくれました。周囲に合わせなくてもよいと思うことは、周囲を否定することではない、ということも。

高校では中学の時よりもクラスの人達とも少しずつ話せるようになり、休み時間やお昼休みに一緒に過ごす友達もできました。高校の授業では、基礎から学ぶことで今までつまらなかった授業も楽しいと思えるようになりました。先日の文化祭も、準備は忙しく大変でしたが、クラスの人達と話すことが多くてとても楽しかったです。お化け屋敷をやったのですが、どうやれば怖い仕組みができるか知恵を出し合っている時など、普段には見られない一面を発見したりしました。

高校生活はなかなか充実していると思います。高校で生活している今、私は生きていることが時々不思議に思えることがあります。今、生きていて心臓が動いていて、こうして話していることが不思議だと。青い空を見て、風が吹いているのを感じられることができるのが不思議と思い、楽しいと笑い、悲しいと泣く。ああ、私は生きているんだ、と実感します。感じたことも何もかも全てが今、私が生きていることに繋がる^{つな}と思うと嬉しく思います。生きるとはこういうことかもしれない。私は見失っていた自分の存在をこの高校で少しずつ取り戻しているような気がします。

私には将来の夢ができました。アメリカの大学に留学することです。留学して宝石のことに勉強して、いつかは自分のお店を開きたいと思っています。今はその夢と高校のたくさんの方々を支えられて充実した高校生活を送っています。これからも、目標に向け、毎日を大切に送っていきたいと思います。



(埼玉県立高等学校 生徒作文)



Let's think!

- 「自分の存在が何なのか、わからなくなりました。」とありますが、筆者は、なぜ、このように思うようになったのでしょうか。
- 筆者は、高校入学を機会にどのようなことを考えたのでしょうか。
- 高校生活を送るうえで、あなたが大切にしていきたいと考えていることは何ですか。

8 後味の悪い再会

「あ、奈緒、久しぶりじゃん！元気だった？」

「うん！元気だったよ！彩香、なんか髪伸びたね。」

奈緒は高校2年生。ある日、部活動が終わって学校から帰宅する途中、奈緒は幼なじみで同年の彩香とばったり街中で会いました。彩香は、奈緒と同じ中学校出身で、奈緒とは別の高校に通っています。

テニス部に所属している奈緒は、真面目で控えめな性格です。他人から頼まれたら嫌とは言えず、誰に対しても笑顔で振る舞うので、まわりの友達は奈緒のことをとても信頼しています。

一方、彩香は、活動的で、常に自分が場の中心、話題の中心でないと気がすまないタイプです。また、相手が先生であろうと誰であろうと、思ったことを何でも口にしてしまいます。奈緒は、彩香自身がいつも話題の中心にいないと気がすまない様子や、人の悪口や弱みを遠慮なくストレートに言う態度に「もっと他の言い方できないのかなあ……。」と何度も思ったことがありました。

彩香に会った時、奈緒は
「今日はこのあと、家で見たいテレビもあるし、長話にならないようにしよう。」
と思いました。

奈緒の予想どおり、彩香は、奈緒の近況などはまったく聞かずに、自分が通っている高校がつまらないこと、付き合っている男の子と最近ケンカばかりしていること、両親が自分の生活に干渉してくることなど、愚痴を話し始めました。

「ああ、中学のころと全然変わってないな。」
と心の中でため息をつきながら、奈緒は、話に興味を持っている振りをして、精一杯の笑顔で彩香の話を聞きました。しばらくして、奈緒は
「じゃあ、私これで……。」
と話を切り上げようとしたのですが、彩香は
「ねえねえ！聞いてよ！この前さあ。」
とたたみかけるように奈緒の言葉をさえぎって話を続けます。こうなると、奈緒は再び笑顔になって、彩香の話を聞くだけでした。



気が付くと、彩香と会ってから1時間近くが経っていました。

彩香は相変わらず自分の話ばかり続けています。しだいに奈緒のイライラはつのっていき、その表情からは、当初の笑顔が消え、「へえー。」「そうなんだあ。」という相づちの回数も

減っていきました。

「そもそも、何で私が自分の時間を犠牲にしてまで、親友でもない彩香の話にここまで付き合わなきゃならないの？愚痴とか聞いていてもちっとも楽しくない。だいたい私っていつもそう。相手に気を遣って、聞き役で、損してばかり……。」

そんなふうに考えていたら、奈緒のイライラは、だんだん怒りの気持ちに変わっていきました。そして、彩香の話に反応すらしなくなってしまいました。一方的にしゃべっていた彩香も、奈緒の様子がおかしいことに気づき始めました。

「奈緒？どうしたの？」

奈緒は、彩香をキッと睨んで、今まで溜まっていたうっぶんを晴らすように、

「彩香っていつもそうだよね！全然相手のことなんか考えないで自分勝手に。私にだって私の都合があるんだよ！何で私の話は聞いてくれないの？だいたい中学の頃だって、みんな『彩香ってウザいよね。』って言ってたけど、そんなふうに言われても当然だと思わない？だって、彩香のそんなところが悪いんだから！」

と一気にまくしたてました。

奈緒が思いを吐き出したあと、しばらくの沈黙が2人を包み込みました。やがて、彩香の体が小刻みに震え始め、目から大粒の涙がこぼれました。言いたかったことを言ってしまった奈緒も、「ハッ！」と後悔の気持ちに襲われました。

『彩香ってウザいよね。』と奈緒の仲間たちが中学校時代に語っていたことは、絶対に彩香には秘密だからと、みんなで約束していたことだったのです。

彩香は、「ごめん……。」と一言だけ言って、下を向いたままぐるりと奈緒に背を向けて、その場を立ち去っていきました。

夕闇が迫って来て、家路を急ぐ人と車の流れが慌ただしくなり始めた街角で、奈緒はいつまでもたたずんでいました。

奈緒は、その夜、ふとんに入っても、ずっと眠ることができませんでした。



Let's think!

- 奈緒と彩香の、それぞれの問題点は何だと思いますか。
- 再会した日、どうしていれば、2人はお互いにさわやかな気持ちで別れることができたと思いますか。
- 良好な人間関係をつくるために、あなたが心掛けていることは何ですか。



こんなとき、どうしよう？

相手の感情や立場に配慮しながら、自分の気持ちや考えを伝えることが難しいと感じる時ってありませんか。

次の場面で、あなたは、どのように自分の気持ちや考えを相手に伝えますか？

【ケース1】

期末考査の3日前になりました。いよいよ、試験勉強も追い込みの時期です。特に日本史では、前回の中間考査で失敗をしてしまったので、この期末考査では、絶対に挽回しようと思っています。

ところが、先日、「お願い！ノートあまり取ってなくて……。すぐに返すから貸してくれる？」と親友のAから頼まれたため、あなたは日本史のノートを貸してあげました。しかし、Aはあなたのノートをなかなか返してくれません。2度ほど催促しましたが、今度持ってくると言って、いまだに返してくれません。

日本史の試験は初日に行われるため、あなたは今すぐにでもノートを返してほしいと思っています。でも、Aは親友だし、あまりしつこく催促して友人関係を壊したくない……。

さあ、あなたは、どのように気持ちを伝えますか？

【ケース2】

三者面談を翌日に控えて、あなたは親と卒業後の進路について話をしています。

あなたは、技術を身に付け資格を取得するために専門学校へ進学したいと考えていますが、親は「卒業後は大学に行きなさい。」と、専門学校への進学を認めてくれません。

あなたは、親をどう説得しますか？

【ケース3】

あなたは、親友のBと今度の日曜日に一緒に遊びに行くことになりました。Bは「前からずーっと見たいと思っていた映画があるんだ。すごくおもしろいって評判だよ。一緒に見に行こうよ。」とあなたに提案しました。しかし、その映画はホラー映画で、あなたがもっとも苦手とするタイプの映画でした。できれば、見たくないと思っています。でも、Bは、あなたと見に行くことをとても楽しみにしている感じです。

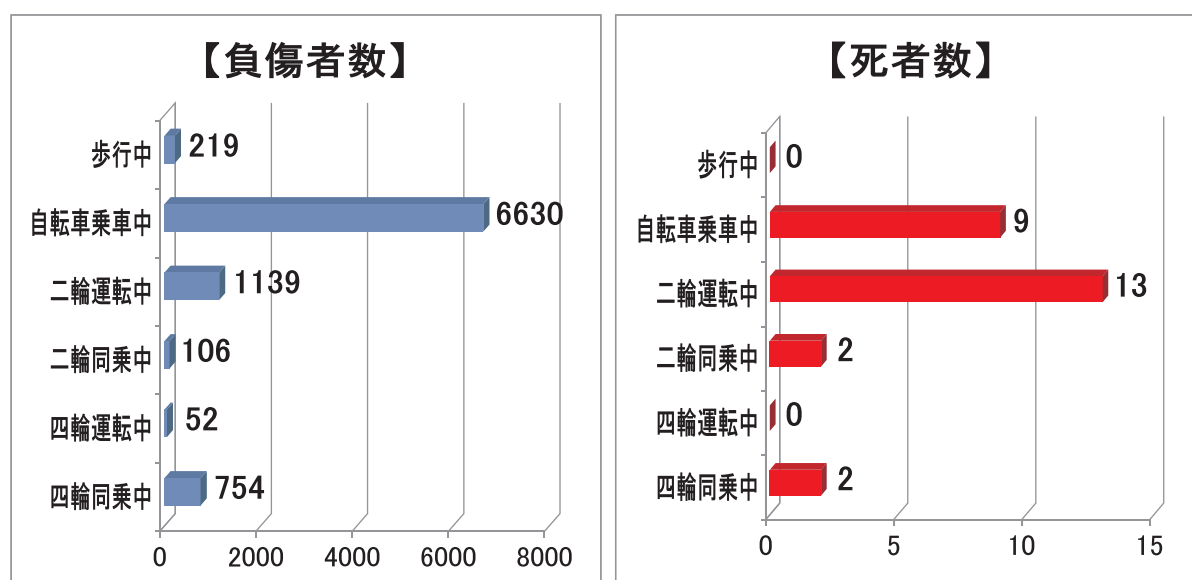
こんな時、あなたならBに自分の気持ちをどのように伝えますか。

9 危ないとわかっているけど・・・

最近高校生の自転車マナーが悪いという話をよく聞きます。道路いっぱいに広がっての交通妨害、急な飛び出し、中には歩行者との接触事故など、一般の方々に大変不愉快な思いをさせるだけでなく、重大な事故につながってしまうケースもあるようです。

埼玉県内の高校生の自転車事故について考えてみましょう。下のグラフは、平成17年から20年までの4年間で発生した県内の高校生の交通事故の発生件数の総数を表したものです。負傷者数については自転車運転中、死者数では二輪車運転中が多くなっています。

埼玉県内の高校生の交通事故発生状況（平成17年～20年）



（協力：埼玉県警察本部）

これらの交通事故では、高校生が被害を受けているばかりではありません。実は、高校生による加害事故（歩行者と自転車の事故で、自転車側が加害者となる事故）も発生しているのです。

ここで高校生の自転車による加害事故の例をみてみましょう。

【事例1】

高校生のAさんが自転車に乗っているとき、友達からのメールが届きました。そして、携帯電話をポケットから取り出し、片手運転の状態で返信メールを打ちはじめました。自分では注意しながら運転していたつもりでしたが、歩行者と接触してしまい、大けがを負わせてしまったため、Aさんには多額の損害賠償が命じられました。

携帯電話を操作しながらの運転だけではなく、傘さし運転も危険です。次は傘さし運転での加害事故の事例です。

【事例2】

ある雨の日に、高校生のB君が傘をさしながら自転車で学校に向かいました。高校では雨合羽の着用指導があって、雨天の時に自転車で登校する場合は、合羽を着用しなければならないということはわかっていました。しかし、「いいや。」と思い、傘をさして自転車に乗ってしまったのです。歩行者を追い越した際に接触してしまい、大事故になってしまいました。

こうした自転車と歩行者の事故は、私たちの日常生活の中で、いつ起きてもおかしくはありません。みなさんも、事故にあうかもしれない、起こすかもしれないということについて、事故防止を含め真剣に考える必要があります。

もし事故を起こしたら、事故にあったら、どういう結果を引き起こすのだろうか。相手に大怪我を負わせてしまったら、その相手の方の人生はどうなるのだろうか。事故にあってしまったら自分はどうなるのだろうか。自分や相手の家族はどうなるのだろうか。あるいは、自分の恋人や友達など大切な人が自転車事故の加害者になったり、被害者になってしまったら。決して人ごとではないはずです。

ではなぜ、事故は起きてしまうのでしょうか。もしかしたら事故を避けられたかもしれない「判断の分かれ目」があるはずです。危ないこと、いけないこととわかっている、「これぐらいなら」という、人の中にある甘い判断。そして、「ついやってしまう」、「自分を止められない」弱い自分。そうした甘い判断、弱い自分が、大問題を引き起こしてしまうのです。

普段の生活を振り返ってみてください。皆さんも思い当たることはありませんか。そして、どうしたらそういうことにならずに済むのかを考える必要があるのではないのでしょうか。

平成20年6月1日、埼玉県道路交通法施行細則の一部が改正されました。

埼玉県道路交通法施行細則（平成21年7月1日施行）

第10条第6号 携帯電話を使用しながらの自転車運転が禁止

「自転車を運転するときは、携帯電話用装置を手で保持しての通話若しくは操作をし、又は画像表示用装置に表示された画像の注視をしないこと」

- この規定に違反した場合の罰則は、「5万円以下の罰金」となります。

第10条第7号 ヘッドホン等で音楽を聴きながらの車両運転も禁止

「高音でカーラジオ等を聴く、イヤホン等を使用してラジオ等を聴くなど安全な運転に必要な交通に関する音又は声が聞こえないような状態で車両を運転しないこと。ただし、難聴者が補聴器を使用する場合又は公共目的を遂行する者が当該目的のための指令を受信する場合にイヤホン等を使用するときは、この限りでない。」

- この規定に違反した場合の罰則は、「5万円以下の罰金」となります。
- 「車両」には自転車も含まれます。

もちろん以前から自転車の傘さし運転は禁止されていますし、自転車の並走も基本的に禁止となっています。

みなさんは自転車に乗りながら携帯電話を操作したことはありませんか。街では若い人が携帯を操作しながら自転車に乗っている姿を随分と見かけます。そんな若い人たちは「私は大丈夫。」、あるいは「ルールなんて関係ない。」と思っているのでしょうか。

最近のこうした「ながら運転」の危険性について、科学的な検証を行った先生がいます。名古屋工業大学大学院工学研究科の^{かんだこうじ}神田幸治准教授です。先生の論文「携帯電話の使用が自転車運転操作に与える負の影響（2005）」では、自転車を両手できちんと運転する場合と、メールをしながら運転する場合には、実験走行中で平均的に約3倍も自転車のぶれ方が違うことがわかりました。このような客観的データを見ると、自分だけ平気、大丈夫とは思ってられません。誰でもメールをしながら自転車を運転すれば、普段の3倍はぶれている可能性があり、危険運転につながるわけです。

神田先生は、「事故を起こさないためには、まずは周囲への配慮が大事だと思います。」と言っています。

携帯を操作しながら自転車に乗るのは危ないとわかっているけど、あるいは傘さし運転は危ないとわかっているけど、周りに迷惑をかけているとわかっているけど、「わかっているけど、やってしまう」自分。

どうしたら、そうした行動にストップがかけられるのか、是非この機会に考えてみて下さい。



Let's think!

- きまりやマナーについて、みなさんはどのように考えますか。
- なぜ人は、危ない、いけないとわかっていることをしてしまうのでしょうか。

16 もう逃げない

「もう嫌だ。」忘れもしない中学三年の夏。バスケットボール部で、厳しい練習に耐え抜いて全力をかけて臨んだ決勝の舞台。しかし、笛の音とともに中学最後の夏が終わりを告げた。負けたと感じた瞬間、私の中で何かが切れた。

それからの私は、転げ落ちるように非行少女へと変貌していった。今思うと、あの時は親からも学校からも、ただ逃げたかった。むろん高校に進学する気もなく、自由の意味をはき違え、社会のルールを無視することが強くてかっこいいと思っていた。しかし、そんな私をどん底の世界から救い、その後の人生を大きく変えてくれた出来事が「妊娠」である。当時同棲していた彼は出産に反対したが、少しずつ膨らむお腹に母性を呼びさまされた私が、一人でも産むと突っぱねると、渋々賛成し、私たちは結婚した。しかし、夫はすぐ問題を起こし、家に帰って来られなくなった。だが私は、一人でこの子を産み、育てていこうと決意し、働きながら必死に生活した。

けれども、大きなお腹の中で元気に動く赤ちゃんの生命の重さを感じるようになると、やがて一人の夜が怖くて、私は思い詰めるようになっていった。母となるにはまだ未熟だったのかもしれない。そんな頼りない私の気持ちを悟った母は、私の家を訪れて、「あなたはもう母親よ。ここで一人で生活をしていて、どうしてお腹の赤ちゃんを幸せにできるの。」と私を一喝した。

その言葉によって、いかに自分が一人よがり強がっていたのか、私は思い知らされた。同時に母親になることの責任と、母の強さを痛感した。

何度も裏切られ、どうしようもない娘を憎んでいるはずなのに、母の温かい愛情が私の胸に痛くて、涙が止まらなかった。私の子を愛情いっぱい育てよう。そのために今、為すべきことは、ずっと逃げてきた実家に帰り、両親と向き合うことだと、気付くことができた。

そして、18歳の3月。

両親に支えられ、無事女の子を出産。この子を授からなかったら、今でもあの暗闇の世界でもがいていたかもしれない。「生まれてきてくれて本当にありがとう。」愛らしい娘を初めて抱いたとき、涙があふれ、何があってもこの子を守ると堅く誓った。



その後、夫とは価値観や人生観の違いが徐々に生じて離婚。これからは、人生をもう一度切り開き、娘を守れる母親役、父親役にならなければと思い、高校へ行こうと決意した。

こうして、21歳の春、私は県立高校に入学し、遠回りした私の高校生活が始まった。入学当初は、「これで本当に娘のためになるのか。自分は間違っているのではないか。」と自問自答を繰り返す日々だった。

また、子育て、仕事、学校の両立は、想像よりはるかにエネルギーのいるものだった。21歳で子持ちの私が積極的に高校生活を送る姿を見せるのは、何となく気恥ずかしくて、少し冷めた態度で毎日を送っていた。

しかし、高校の生活は、私の思い描いていたものとは少し違っていた。一言で言えば、「アットホーム」、まるで家族でいるような学校である。様々な事情を持ち、個性豊かな仲間が互いを理解し合い、認め合って生活している。勉強や卒業するためだけの学校ではない、人として学ばなくてはならない大切なことが、もっとここにはたくさんあるはずだと考えるようになった。

そして、いつの間にか過去や年齢にとらわれず、素で笑えるようになっていった。また、教師と生徒という立場を越え、一人の人間として先生方を見ているうちに、「こんな温かい高校で、教員として働けたら幸せなことだろうな。」と思うようになった。遠回りしてきた私だからこそ伝えられることがあるのではないかという思いは、高校生活を重ねるほど強くなっていった。



体育の教員になりたいという夢を切り開くために、先生の勧めで、陸上部へ入部。また、少しでもいろいろな知識や経験を求め、野球部とサッカー部にも入部した。

そして、あの中学三年生で終えたはずのバスケットボール部も結成した。初めは、進路のためにと考え、入った部活動だったが、仲間と共に汗を流し、辛苦を共にしていくうちに、絆は強く深くなっていき、この仲間と勝利を分かち合いたいと本気で思うようになっていった。

また、こんな私でも様々な人に支えられ、この高校で立ち直った証明と、夢を持った足跡を、ここに残したいと強く思った。

こうして、野球、バスケ、陸上で全国大会出場。陸上部では、二年連続走り幅跳び全国優勝の成績を収めることができた。この仲間とそして、先生と創り上げた成績の過程は、私の

輝かしい財産である。また、こんな素晴らしい経験ができたのも、家族の存在と手助けがあったからに他ならない。今でも、正直、あの問いを自分自身に投げかけることがある。「これで本当に娘のためになるのか、自分は間違っているのではないのか。」と。でも、一つだけ言えることは、「娘に恥ずかしくない強い人間でありたい。あの大きく寛大な母のように。」そのことこそが、今までどんなときも、私を見守ってくれた両親への恩返しになるのではないかと思うのだ。

これから進んでいく道は厳しくて険しいものかもしれない。

でも、何があっても、もう逃げない。

そして、残りわずかな高校生活は、感謝の気持ちをたくさんの人に伝えるための大切な時間に費やしていきたいと思う。

全ての人へ心からありがとう。

(埼玉県立高等学校 生徒作文)



Let's think!

- 「何があっても、もう逃げない。」というのは、「私」は何から逃げないということなのでしょうか。
- 困難なことに会ったとき、あなたはどのように乗り越えていますか。
- あなたが生きてきた過程で大切にしてきたことはありますか。

20 田植えと源さん

僕は、農村での体験学習へ向かう道々、「正直気乗りはしないが、仕方ないから行く。」そんな気持ちだった。農家での宿泊は、携帯電話も使えなければ、テレビもないし、自分の好きなこともできない。遠くまで出かけて、体験学習をする意味も理解できなかった。行きのバスの中で、ずっとそんな事を考えていた。

宿泊先の民家に着くと、源さんとハルさんが僕達を迎え入れてくれた。昼食を取ると、すぐに農作業の手伝いをする事になった。まだ暗い気持ちでいたが、手伝いを始めたら作業は多く、考える余裕はなかった。

一日目の作業は、チェーンソーを使って丸太を切ることだった。簡単そうに見えたこの作業は、見るのとやるのでは全く違っていた。精一杯手に力を入れて、腰を落とし集中しないと切れない。作業は、切る木が無くなるまで続くのだ。まるで終わりのない作業に思えた。しかし、必死で作業を続けるうちに、丸太が切れる瞬間何とも言えないうれしさがあった。僕の手はブルブル震え始めていた。だが、達成感に包まれた僕にとっては、どうでもいいことだった。

二日目は、田植えである。地元の農業公社職員の人から説明を聞き、田んぼに案内してもらった。田んぼの中にはヒルがいて、噛まれるとなかなか取れず、血だらけになると聞いた。僕たちは裸足なのに、教えてくれる人たちは皆胸まである長靴をはいていた。「なぜここまで来て、こんな事をしなくてはならないのか。」と思うと、また暗い気分になった。

僕は、よどんだ田んぼの中にどうしても素足を入れることができず、しばらくその場に立っていた。しかし、意を決し一歩足を踏み入ると、ユニョーとした何とも言えない感触がした。「とにかく早く終わらせよう。」と思った。足を一歩前へ出そうとしたとき、泥から足が抜けなかった。力づくで抜くと、バランスを崩し田んぼの中へ倒れそうになった。「毎年田植えをする人は、泥の中に入ってこんな思いをするんだなあ。」と思った。これが僕にとっての第一の試練だった。

第二の試練、それはヒルとの戦いだった。話には聞いたことがあるが、初めて目にするヒル。僕の前をニョロニョロと泳ぎながら近づいてくる。僕はおののいて、ヒルに泥を投げつけたり、手ですくっては遠くへと放り投げたりした。知らないうちに、足に吸いついているような錯覚さえ覚え、苗を植えるどころではなかった。「とにかく早く終わらせよう。」と思った。

そして、第三の試練は、泥の中に一本ずつ苗を植えていくこと。ふと横を見ると、源さん



『埼玉の子ども70万人の体験活動、高等学校の活動の様子』より

田んぼの半分位まで進むころには、次第に苗を植える作業に集中できるようになった。もう、泥の感触もヒルのことも忘れて、ただひたすら一本また一本と、苗の気持ちになって植えていくことだけを考えていた。そして、腰を伸ばして立ち上がると、緑色した苗たちが、ピンと空を向いて立ち並んでいた。ほんの一時間程度の作業だったが、汗が流れ落ちていた。畦道を歩きながら、一緒に教えてくれた源さんが僕に言った。「田植えも見た目と実際にやるのでは全然違うだろう。きれいな仕事ではないし、自然相手だから何が起こるかわからない。夏、お日様がへそを曲げたり、秋の収穫の時に台風でもきたら、今までの苦労は全て終わりだよ。一銭にもなりやしない。わしも若いときから、来年はもうやめようといつも思っていたが、お米ができてみんなが『源さんの作ったお米はいつもおいしいね。』と言われると、また次の年も田んぼに入っているんだよな。」

源さんの家に戻ると、ハルさんが「ご苦労だったね。これで秋にはおいしいお米ができるね。どうもありがとうね。」とねぎらってくれた。僕は、自分の最初の気持ちを考えて少しはずかしかった。それからみんなで、飯ごうでお米をたいた。本当に源さんの作ったお米はおいしかった。苗の気持ちになり誠心誠意働き、みんなに喜んでもらいまた次の年も田んぼに入る源さんの姿を想像した。

イヤイヤ始めた田植えだったが、終えてみると「普段あたり前に食べていたお米も、作るのにはこんな苦労があるのだ。」と、僕は初めて知った。そして、米の一粒一粒がとても大切に感じられて、不思議な気分だった。

午後は薪割りだった。最初チェーンソーで切った丸太を薪にするのだ。力には自信があったが、どうしても割れない丸太があり、悔しい思いが残った。僕より明らかに体が小さく、力もそんなに無さそうな源さんは、いとも簡単に割っていた。源さんは、僕の様子を見て「どんな仕事でも、気持ちがなければ相手には通じないよ。それが人じゃなくても同じさ。」と言うと、次々と割っていった。僕はその言葉をなんとなく聞きながら挑戦していたが、うま

の植えた苗はピンと上を向いていた。しかし、僕の植えた苗はぐったりとして元気なくおじぎをしていた。「早くコツをつかみたい！」僕は真剣にそう思った。「ただ植えるだけだと、秋に米はならないぞ。苗の気持ちになって、一本一本植えなさい。」と櫛^{げき}を飛ばす源さんの声が、田んぼ中に響き渡った。まったく不慣れな僕だったが、



くいかなかった。時間は十分、二十分と過ぎ、半分あきらめかけていた。目の前の丸太をじっと見つめ、少しでも源さんの役に立ちたいと思いながら、スッと腕を下ろすと「パカン！」と澄んだ音とともに、丸太が割れたのだ。何だか急に力が満ちてきたような気がした。疲れと同じくらいの大きな達成感があった。まるで、自分が輝いているような気分だった。源さんが僕にアドバイスしてくれることは、正直どうでもい

いようなことだと思っていた。しかしそのこだわりは、理由があってなるほどと思えるものばかりだった。源さんからは、「これで、この冬を過ごす薪ができたよ。ありがとう。」と言われ、僕は少し照れくさかった。

不満で一杯の三日前の自分が、少し変わったような気がした。ふと周りを見ると、クラスの友達もいい顔をしていた。「働くってこういうことなのかなあ。」と思いながら、僕は帰りのバスに乗り込んだ。

(埼玉県立高等学校 生徒作文)



Let's think!

- 「苗の気持ちになって、一本一本植えなさい。」「どんな仕事でも、気持ちがなければ相手には通じないよ。それが人じゃなくても同じさ。」これらの言葉は、どんな事を伝えたかったのでしょうか。
- 「僕」の働くことに対する気持ちは、体験を通してどのように変化していったのでしょうか。また、その要因はどこにあったのでしょうか。
- あなたが仕事に就いたとき、「この仕事をして良かった。」と思うのは、どんな時だと思いますか。

はぐもう！豊かな人間性や社会性！

埼玉県では、様々な体験活動をとおして児童生徒が豊かな人間性や社会性を身に付け、将来における自己実現の探求ができるよう「埼玉の子ども70万人体験活動」を推進しています。



【就労体験した生徒の感想から】

母の大変さを実感

私は母が勤めている事業所での仕事がどれだけ大変かを知るために、その事業所を体験先を選びました。

最初は簡単だと思っていましたが、実際やってみるととても大変でした。家に帰ってから腰と足がとても痛くて、翌日行けるかどうかかわからないくらいでした。

就労体験を終えて、母はとても大変な仕事をしているのだと思いました。

こころに残った言葉

実際に仕事をやってみて、難しいことや大変なことがたくさんあることがよくわかりました。そして、仕事は大変なことも多いですが、楽しいと思えることもあるということもわかりました。

担当の方がおっしゃった「仕事は9割大変だけど、1割でも5分でも楽しいならそれでいい。」という言葉がとても印象的でした。

頼りにされているなあ

最初は「大変かな」と不安でしたが、周りの人に優しく接していただきました。とても疲れましたが、充実感がありました。大変なこともありましたが、やりがいもありました。「僕も少しは頼りにされているなあ。」と思い、とても頑張って仕事に打ち込めました。とてもいい経験になりました。



写真：『埼玉の子ども70万人の体験活動・高等学校の活動の様子』より
生徒感想：『自分発見！高校生感動体験プログラム事業・エピソード集』より

22 初めて海外へ飛行した女性 ～西崎キク～

西崎キクは、昭和51年（1976）、朝のNHKドラマ「雲のじゅうたん」のモデルの一人として紹介され、日本中に大きな感動を呼びました。夢に向かって挑戦し続けたキクの努力の一端を紹介します。

大正元年（1912）11月2日、児玉郡七本木村（現在の^{かみさと}上里町）に松本^{さへい}佐平・タキの次女として生まれたキクは、物おじしない子どもで、2歳の時には、一人で屋根の上までのぼり、大騒ぎになったこともありました。七本木^{じんじょう}尋常小学校、高等小学校、そして、埼玉県女子師範学校を卒業後、昭和4年（1929）、神保原^{じんぼはら}尋常小学校の教師となりました。



「翼上のキク～飛行学校にて～」

ある秋晴れの日、キクは、高等科の生徒たちと群馬県太田市にある^{かなやま}金山へサイクリングに出かけ、その帰り道、尾島^{おじま}（現在の群馬県太田市）飛行場に立ち寄りました。ちょうど新型飛行機のテスト飛行が行われていました。そこで、キクは生まれて初めて飛行機を手で触れ、飛行機が飛び立つ時の耳をつんざくような爆音を耳にしたのです。

16歳という若さで教師となったキクは、さらに教師としての力を高めるために、上級免許^{しゅとく}の取得を目指して毎晩勉強をしていました。目標が近づくにつれ、キクは迷いました。「今よりもっと努力や苦勞してもいい。自分の限界をためせるようなことをやってみたい。精一杯生きていたというあかしのある人生を送りたい。」と考えるようになったのです。そんな時、ちょうど新聞の広告欄に飛行機講義録の案内を見つけました。その瞬間、胸がドキドキし、目の前に、いつか自転車で遠乗りしたときの飛行機の姿が鮮明に浮かび上がってきました。あの爆音も聞こえてきます。これをきっかけに、キクは、大空を自由に飛ぶことに限らない魅力を感じ、自分も飛行機を操縦したいという夢をもつようになったのです。

昭和6年（1931）、キクは、飛行士という夢への第一歩のために、教師を^や辞め、東京の飛行学校に入り、操縦の勉強に明け暮れました。初飛行体験の時には、実際の操縦をとおして、講義で勉強してきた操縦法が深く理解できたことに感動し、飛行士になる夢を自分の確かな目標にしていきました。

その後、愛知県新舞子^{しんまいこ}の飛行機研究所に移り、昭和8年（1933）、キクはついに念願の飛

行機操縦士免許を取得しました。そして、郷土訪問飛行のため、水上飛行機を操縦して児玉^{こたま}郡旭村（現在の本庄市）利根川に向け、愛知県の新舞子を出発しました。

408キロを7時間で飛行し、上空を3回旋回してあざやかに着水させ、出迎えの群衆数万人あまりの歓迎を受けました。教師をしていたころ担任した小学校2年生の子どもたちが5年生になり、「先生、よく勉強して頑張ったね。今日の先生は最高に素敵！やればできるんだね。俺たちも頑張らなくっちゃあー。」と声をかけてくれました。

ふるさとの川は野は麗しく^{うるわ}

ふるさとの山はこよなく美しい

ただ^{ただ}只感激！ 只感謝！！

これで自信をつけたキクは、次に満州訪問飛行を計画し、今まで以上に操縦の練習をしました。そして、この飛行を達成しようと、昭和9年（1934）、羽田飛行場から勇んでサルムソン2A2型機「白菊号」に乗り込みました。しかし、満州に向かう途中、朝鮮半島の中頃で向かい風が強くなり雨も降って難航し、ついに燃料が欠乏し、やむを得ず不時着することになりました。夜間で周囲の様子がわからず、不安に思いながらの不時着でしたが、幸運にも、大きな川の土手に飛行機がへばりつく格好で止まり、火災もなく、機体も無傷でした。これを天佑^{てんゆう}というのか、偶然の幸運というのか！キクは、無事に不時着できたこの幸運に感謝しました。

翌日から飛行を続け、羽田^{しんきょう}—新京^{ちようしゅん}（現在の長春）間の2,440キロを14日間で飛行し、「日本女性初海外飛行」という快挙を達成することができました。このことが高く評価され、昭和10年（1935）、フランスのパリにある国際航空連盟から終身会員証とともにその年の最優秀パイロットを表彰するハーモン・トロフィーが贈られました。



「満州訪問飛行途中のキクと白菊号」

帰国後は、亜細亜航空学校で後輩の指導にあたっていましたが、昭和12年（1937）7月、キクは、樺太^{からふと}で行う豊原市市制施行祝賀飛行に招待され、羽田から樺太に向かうことになりました。

その途中、津軽海峡の上空で濃い霧と雨という天候により、飛行機がエンジン不良を起こしました。ここで無事に不時着したとしても、キクは飛行機とともに海に沈んでしまいます。

ところが、このとき、偶然通りかかった貨物船を霧の切れ間から発見し、「今降りるから頼みます。」と上空から声を張り上げ、助けを求めました。着水とともに、飛行機はブクブクと沈んでいき、座席はたちまち水に浸かります。急いで操縦席を離れ、尾翼へたどり着くと、貨物船から降ろされたボートに引き上げられ、九死に一生を得ました。キクは、当日、津軽海峡を運行する唯一の貨物船いなりまる稲荷丸に遭遇し、救われた幸運に感謝、そして、この船の名は決して忘れまいと心に刻みました。

この年、日中戦争が始まりました。満州訪問飛行の経験をもつキクは、自分の技量を生かすには、戦場の患者を移送する患者輸送機の操縦士になることと考え、陸軍省へ従軍志願書を提出しました。しかし、女性であることから却下され、キクの飛行士としての道は絶たれてしまったのです。

飛行機を離れたキクは、昭和13年（1938）に結婚し、満州国埼玉村開拓団の開拓移民として再び海を渡りました。当時、ソ連国境に近い未開の大地での生活は、徒党を組んで略奪を繰り返す盗賊の来襲、屯墾病とんこんびょうと呼ばれるホームシック、零下30度まで下がる厳しい気候など、驚きと苦勞の連続でした。



「満州の開拓地にて」

しかし、キクは、持ち前の明るさで、苦難に立ち向かい、周囲の人々の支えとなっていきました。また、現地の小学校の教師も務め、充実した日々を過ごしていました。

ところが、昭和16年（1941）、現地で夫が病死してしまいます。悲しみに暮れるキクでしたが、夫の夢でもある建設途中の開拓村や小学校の子どもたちのために、単身で開拓地生活を続けました。そして、縁あって開拓団の指導員である西崎氏と再婚し、昭和19年（1944）には、長男たかし峻が誕生しました。しかし、3人の生活も長くは続かず、開拓移民にも召集令状が届くようになり、昭和20年（1945）8月4日の朝、西崎氏も出征したのです。

8月17日、日本の敗戦を知った開拓団は、日本に引き揚げることになりました。その途中、12月の厳しい寒さの中で峻が肺炎になり、必死の看護も及ばず、深い悲しみの中、凍土を掘り、最愛の我が子の遺体を埋葬しました。昭和21年（1946）6月、出発したとき492人いた団員のうち、わずか133人しか埼玉県庁にたどり着くことができなかったのです。

故郷へ戻ったキクは、七本木中学校に勤務するかたわら、ここでも開拓に力を注ぎました。そして、昭和24年（1949）9月、夫が抑留よくりゅうされていたシベリアから復員し、再び二人で土を耕す日々が戻りました。

やがて、二人の男の子にも恵まれました。開拓地は「のっぺ」とよばれる酸性土壌で、開

拓の難しい土地でしたが、その後、キクは、昭和29年(1954)に教職を離れ、「土に生きる」ことを決意し、西瓜やうどの栽培に全力を注ぎました。こうした中、昭和35年(1960)に執筆した『酸性土壌に生きる』が、翌年農林大臣賞を受賞しました。

昭和50年(1975)、「自分の人生が悔いを残さないものであったことを子どもたちに教えたい。」として、自叙伝『紅翼と拓魂の記』を書き上げました。また、翌年には、朝のNHKドラマ「雲のじゅうたん」のモデルの一人として、再び注目される中、キクはあるラジオ番組に出演しました。

「空を飛んでいる時、孤独ではなかったですか。」というアナウンサーの質問に、キクは次のように答えています。

「日頃飛び慣れた飛行機に『頼むよ。』と心を込めて言い、なでると、自分と同じ体温を感じることができました。飛行機は口こそ利かないのですが、快いエンジンの響きで応えてくれます。会話は無いけれど、孤独ではないという気持ちで飛んでいました。」と。そして、「あと何年、命があるかわかりませんが、自分がまだ必要とされているという自覚をもつことができれば、年齢に関係なく自分の人生を熱く生きていきたい。」と。

昭和54年(1979)10月6日、大空に夢をかけたキクは、挑戦する精神をもち続けたまま、66歳でその生涯を閉じたのです。

ただ一度の人生だから、

自分の可能性を追い求めよう

西崎 キク

参考：西みさき『紅翼と拓魂の記』

上里町立郷土資料館 『郷土の偉人西崎キク伝 夢 青き空から』(上里町役場)



Let's think!

- キクの生き方や「ただ一度の人生だから、自分の可能性を追い求めよう」という言葉を読んで、あなたはどのような感想を持ちましたか。
- より高い目標を目指し、希望と勇気をもってやり抜くためには、どのようなことが大切だと思いますか。
- ただ一度の人生をよりよく生きるために、あなたが努力していることはありますか。また、努力したいことはありますか。

24 見えない相手

高校二年生になって、クラス替えがありました。仲の良い友達は、ほとんど他のクラスになってしまいました。あまり自分から話しかけない私は、いつもクラスの中で一人で過ごしていました。そんな私に A 子が声をかけてくれてから、クラスの中に打ち解けていくようになりました。

一人で過ごしていた時と比べ、クラスメートとおしゃべりや家に帰ってからのメール交換は、とても楽しい時間でした。友達付き合いの上手でない私にとって、メールでのやり取りは、直接顔を見て言わない分、将来の夢や好きな人のことなど、簡単に色々なことを打ち明けることができました。そして、友達に気持ちを伝えることが心から楽しいと思いました。また、メールのやり取りの中で、「プロフ」や「掲示板」の存在やアクセスの仕方も教えてもらいました。

ある日、いつものようにみんなとおしゃべりをしていた時、「B 子最近調子に乗っているよね。」と誰かが言うと、A 子が「みんなで掲示板に、B 子について思っていることを書き込もうよ。」と言い出し、みんなで書き込むことにしました。

私は家に帰ってから掲示板をのぞき込むと、実名は出ていませんでしたが、あきらかに B 子への悪口や非難とわかる内容が、多数書かれていました。私も、みんなとの約束どおり、掲示板に書き込もうと、文を打ち込みはじめましたが、B 子の顔を思い浮かべると、どうしても書き込みができず、みんなとの約束を果たせませんでした。次の日、みんなの話題は、B 子と掲示板のことでした。私は適当に話を合わせながら、おしゃべりに参加していました。

数日後、友達に話しかけてもみんなが私を無視するようになり、ひそひそと悪口を言われるようになりました。そのことについて A 子に相談しても、「あなたにも原因があるんじゃないの。」と冷たく言われてしまいました。また携帯メールには、何通もの嫌がらせメールが届きました。それも全部違うメールアドレスから。「このままじゃ、自分が壊れる。」と思い、アドレスを変えしばらく誰にも教えませんでした。しかし、その次に襲ってきたのは、私のプロフへの書き込みでした。以前、友達と交わしたメールでの秘密の話や、B 子の

ことを掲示板に書いたのも私であると、そこに書かれていました。「私の知らない間に、何人の人がこれを見たのだろうか。」そう思うと、怖くなりすぐに自分のプロフを削除しました。「もう誰にも本当の自分の気持ちなんか伝えない。」と一人で泣きました。

先生に言ったら「ちくった。」と言われるし、友達に打ち明けても、また裏切られるのが怖いし、親には心配かけたくありません。なにより自分自身



が、被害者であることを受け入れたくありませんでした。私は一人心の中でつぶやきました。「気にしないでいこう。私が悪いんじゃない。強くなろう。耐えられる限り自分で飲み込んでしまおう。」しかし、実際そんな急に強くはなれませんでした。最後は先生に打ち明け、表立った嫌がらせはなくなりました。普通の喧嘩なら、直接あやまったり話したりして解決できるけど、ネットを通しての見えない相手では、何もできません。メールやネットでは、相手が一人なのか十人なのかも知ることができません。またネット上で、周りから作り上げられた知らない自分が、独り歩きしているのではないか、という恐怖におののきます。

あの時、心の中で感じた冷たい痛みを今でも思い出します。

(埼玉県立高等学校 生徒作文)



Let's think!

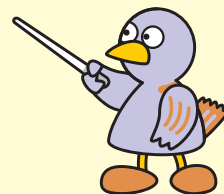
- なぜ、「私」は掲示板への書き込みができなかったのでしょうか。
- 自分のプロフを削除したときの「私」はどのような心境だったのでしょうか。
- インターネット上で、不特定多数の人が参加できる「プロフ」や「掲示板」の問題点について、考えてみましょう。
- 「ネットいじめ」をなくすには、どうしたらよいのでしょうか。

【参考：相談・通報窓口】

～一人で悩まず相談を！～

1 いじめ相談に関するもの

- (1) 県立総合教育センター よい子の電話教育相談（心のケア）
子ども専用 【0120-86-3192】
保護者専用 【048-874-2525】
- (2) 法務省 人権擁護局（人権相談）
【<http://www.moj.go.jp/JINKEN/jinken113.html>】（インターネット）
【0120-007-110】（子どもの人権110番）
- (3) 子どもスマイルネット（埼玉県子どもの権利擁護委員会 電話相談）
【048-822-7007】



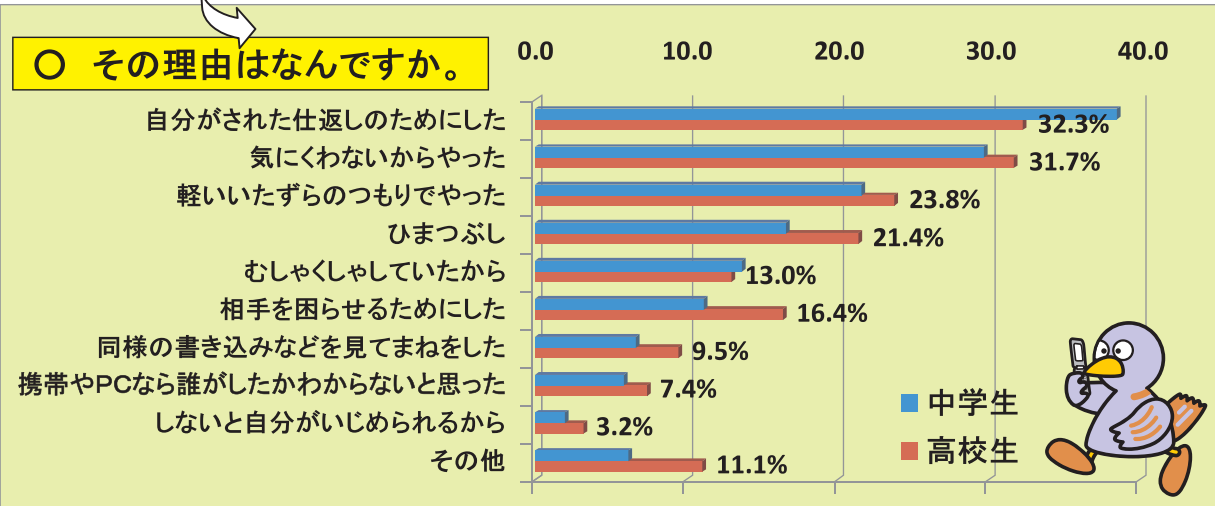
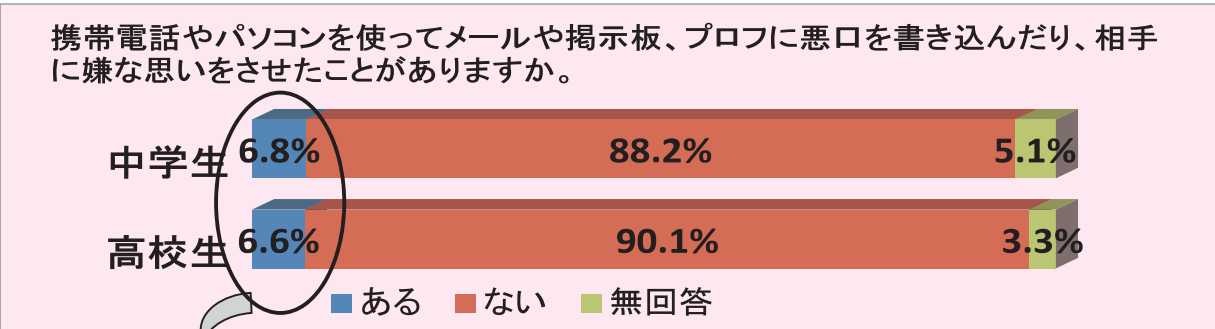
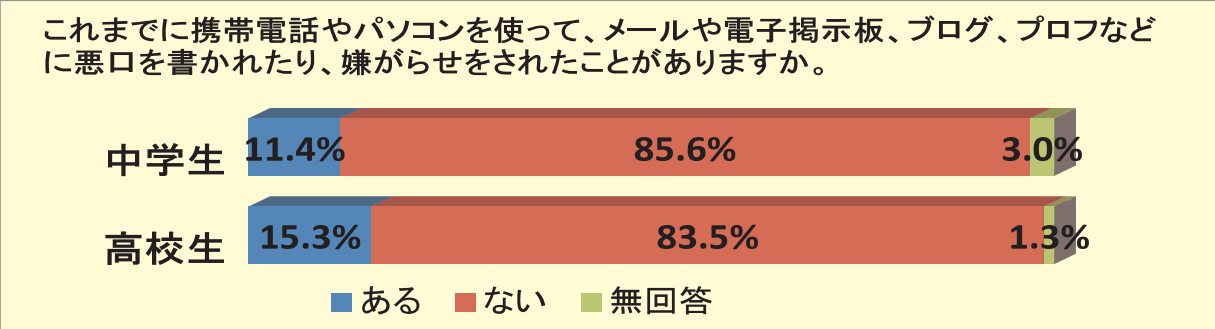
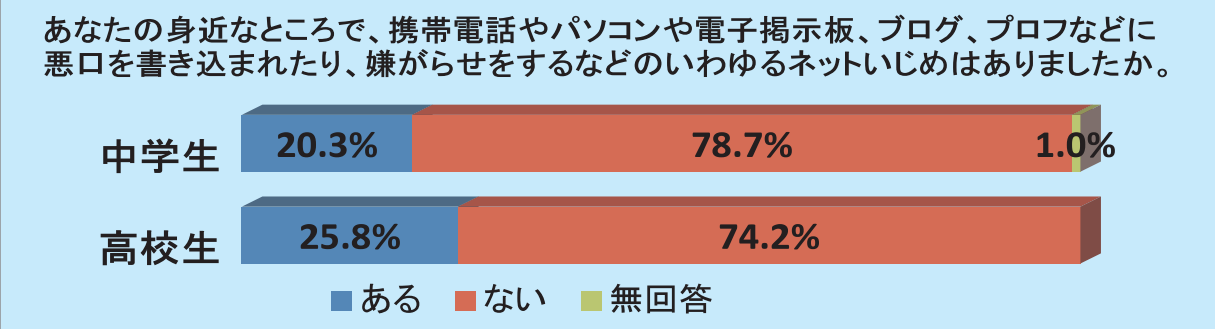
2 インターネットを使った犯罪に関するもの

- (1) けいさつ総合相談センター
【#9110 又は 048-822-9110】
- (2) 埼玉県警察：埼玉県警察 HP「サイバー犯罪対策」
【http://www.police.pref.saitama.lg.jp/kenkei/110_soudan/joho110/cyber/cyber_joho.html】

埼玉県教育委員会「ネットいじめ シャット・アウト!」カードより

STOP! ネットいじめ

特定の個人に対するネットによる陰湿な誹謗や中傷。絶対に許されない行為です！
なぜ、ネットいじめは起きてしまうのか。どうしたら、ネットいじめをなくせるのか。
下のデータを参考に、クラスで話し合ってみましょう！



埼玉県教育委員会『平成20年度 携帯電話の利用状況等に関する調査結果について』より

26 信じ続ければ、夢は必ず叶う

反骨精神。

これが、現在まで私自身が頑張ってきた要因のひとつです。生まれ育ったのは東秩父村という田舎町。当時の身長164センチ、59キロという小さな身体も、野球をするのに恵まれているとはいえません。それでも、野球に挑戦し続けられているのは、都会の選手、身体の高い選手たちに「絶対に負けたくない。」という強い気持ちがあるからです。

私が中学生だった頃の上尾高校は、現在の強豪私学のように県内から身体の高い有望選手が集まってきました。入学時に「お前なんか行っても無理だ。」と言われたこともあります。それでも、小さいなりに元気だけは負けないとか、全力疾走を怠らないなど、正しい姿勢で一生懸命野球に取り組もうという気持ちは人一倍持ってやってきました。その結果が、二年生の夏の甲子園出場につながったのだと思います。やる前からあきらめることは簡単です。でも、あきらめなければ、可能性は必ずあります。この考えが、指導者となった今も、私の原点になっています。

高校野球とはいえ、野球は勝負です。勝負事である以上、当然、勝ちにこだわります。そこには、公立も私立もありません。ですから、選手たちには「公立だから勝てなくてもしょうがない。」という気持ちを絶対に持たせないようにしています。そういう気持ちになるためには、「オレたちの野球が一番なんだ。」と思えることを何かひとつでも作らなければいけません。そこで、鷲宮高校では、「姿勢だけは一番になろう。」と言っています。

ただ単に大声を出すのではなく、相手の目を見て心のこもったあいさつをする。ただ単にトンボをかけるのではなく、感謝の気持ちを込め、本当に平らにしようと思ってグラウンド整備をする。

ただ単にはきものやカバンを揃えるのではなく、チームの心がひとつになるように揃える。

ただ単に道具の手入れをするだけではなく、買ってくれた親御さんに感謝しながら手入れをする……。制



服やユニホームをピシッと着るのも、それによって心が引き締まるからです。

勝つことは大事です。鷺宮高校も勝つことを目標にしています。でも、勝つことだけが全てではありません。

ですから、私が言い続けるのは、「いい選手である前にいい生徒であろう。いい生徒である前にいい人間であろう」、「うすっぺらな人間にはならない」、「たとえ野球の技術がなかったとしても、野球の道具を大切にすることや、自分を成長させてくれるグラウンドを常にきれいに整備する心を持ち続けられる野球選手になる」ということ。

これができないようでは、いくら強くても周りから応援されるようなチームにはなりません。それでは、たとえ勝ったとしても、何も意味がないと思います。レギュラーだろうと、控え選手だろうと、全員が周囲から応援してもらえるような雰囲気、「あるべき姿」を持った野球部。それが、私の目指している野球です。

もうひとつ、私が選手たちに言い続けることが「苦手なことから逃げない」「苦手なことに対して頑張ろう」ということです。最近では、失敗することを恥ずかしいと思ったり、失敗を恐れてチャレンジしない選手が増えているように感じます。

でも、それは間違い。

むしろ、失敗や挫折した経験のある方が、その後の人生にプラスになることが多いように思います。失敗にめげず、苦手なことに挑戦し続けることができれば、選手としてだけでなく、人間としても成長できるからです。

そんな私の思いを体現してくれた選手がいました。2006年の夏に埼玉県大会で準優勝したときの主将です。170センチ、65キロと小柄な彼は、決して恵まれた体格や能力の高い選手ではありませんでした。入学時は守備が苦手で、ゴロもフライも捕れない。自己表現するのが上手ではなく、打撃も、走塁も不器用という印象でした。

ところが、彼には誰よりも努力をするという才能がありました。1年生の頃から、毎日、毎日、最終電車の間に合うぎりぎりの時間まで残って自主練習をする。腰痛持ちのため、悪化しないようにとこちらがストップをかけても「そう言われるのは、自分が弱いからだ。」と言って、練習をやめませんでした。その練習も、一球たりともおろそかにしない。鬼気迫る表情でバットを振る姿からは「この練習をすれば、絶対にうまくなるんだ。」という強い思いを感じました。

人が見ているからやるのではありません。自分自身に対する挑戦です。監督の私が、怖いと感じるほど真摯な姿勢で練習に取り組むのを見ていて、「これだけ練習をやっているのな

ら、神様も味方してくれるだろう。」と思うようになりました。

二年生の秋までは代打でしたが、三年生の春の大会からは四番を任せました。見る人の心を打つレベルの努力を重ねてきた彼こそ、鷺宮野球部を象徴する存在だと思ったからです。彼で負けたらしかたがない。彼にかけようという気持ちでした。

そして、夏。

彼は一番いいところで活躍してくれました。優勝候補筆頭といわれていた準々決勝の春日部共栄戦の九回裏に、サヨナラ安打を打ったのです。残念ながら甲子園には届きませんでした。彼は大会後、こう言っていました。

「できなかったことができるようになること、それがうれしいんです。できたときのうれしさを考えたら、練習することが苦になりません。努力することが好きになれた高校野球でした。」

できないからといって、逃げない。できないからこそ、できるようになるまで頑張る。結果的に、彼は入学時の私の予想をはるかに上回る選手に成長してくれました。

私の好きな言葉は「ただひたすらひたむきに」

まさにそれを行動で現してくれたのが彼でした。

努力し続けること、挑戦し続けることの大切さや意味、高校生の能力には限界がないことを改めて彼から教えてもらいました。

埼玉県には、全国区の強豪校がいくつもあります。それでも、甲子園に出場し、甲子園で勝ち進むという目標に挑戦し続ける気持ちは変わりません。

埼玉県で上位に入り、「公立なのによくやった。」と言っていたこともありますが、それ自体は目標ではないのです。

あいさつや礼儀、身だしなみ、グラウンドや道具を大切に作る心、スタンドを含めて一体となる全員野球、そして自分たちの野球が一番なのだという誇り……。

それらはどこの高校よりも上回りたい。ただ勝つのではなく、こういう野球部が勝つべきなのだということを証明したいと思っています。

鷺宮高校の野球を観て、子どもたちが「高校野球ってすごいな。このお兄さんたちすごいな。」と思ってくれたり、大人でも子どもでも観てくれた人が「高校生の頑張りはすごいな。」と思ってくれるだけでもいい。

高校野球のあるべき姿で戦い、そして勝つ。それによって、感動してもらったり、世の中に社会的貢献ができればいいなと思っています。

信じ続ければ、夢は必ず叶う。

この思いを胸に、これからも選手たちと一緒に、全力で走り抜きたいと思います。

(埼玉県立高等学校 教諭)



Let's think!

- 勝つことより大切にしたい「あるべき姿」とは、どのような姿なのでしょうか。
- 主将の練習に取り組む姿勢から、あなたはどのようなことを学びましたか。
- 夢を信じ、叶えていくためには、どのようなことが大切なのでしょうか。

埼玉県教育委員会 <『心に残る「言葉」100選』より>

夢は逃げない 逃げるのはいつも自分

自分が自分の夢に胸を張り続けるかぎり、夢は消えない。自分で自分の夢をあきらめることは簡単だ。だが、それを実現させるのは難しい。しかし、それを乗り切って、初めて得られるものはたくさんある。この言葉は、そう思わせてくれたとても大切な言葉です。

私は今、高校三年生で大学進学のため予備校に通っている。そこで、この言葉と出会った。「夢は逃げない。逃げるのはいつも自分。」これは英語の先生の言葉だが、言われてみてやると初めてそれに共感できた。言われては当たり前のことも思えるが、言われなければ気づかないような言葉。

今の私にとっての一番の夢は、なんと自分が志望校合格だが、この追いかけはじめた夢を逃がすことは簡単なのだと思った。決めるのは自分だ。

夢を叶えるにはそれ相応の努力をしなければならぬ。誰でも一度は「もうだめだ。」と絶望する時がきつとある。でも、それを乗り越えて前に進んで、達成できた時の感動は伝えきれないほどのものだろう。

後で後悔するの自分、逃げるの自分。夢を叶えるの自分。やるべきことはわかっていて、「夏から」なんてそんな甘いことは言っていない。今のうちにこの言葉に出会って本当によかった。私は逃げない。



埼玉県立高等学校 3年生

28 誠の心 ～渋沢栄一物語～

埼玉の偉人、渋沢栄一しぶさわえいいちは、天保11年（1840）、武蔵国榛沢郡血洗島むさしのくにはんざわぐん ち あらいじま（現在の深谷市）の豪農で父市郎右衛門いちろう うえもん・母えいの長男として生まれました。渋沢家は、代々農業を営んでいましたが「名字帯刀みょうじたいとう」を許され、養蚕や藍玉づくりとその販売のほか、雑貨屋・貸家業も兼ねていました。特に母親のえいは恵まれない人々の世話を積極的にする人物で、地域の人々から厚い信頼を得ていました。

栄一が幼小の頃の話です。近くに身寄りもなく、長い間重い病気にかかっている若い娘が住んでいました。病気がうつっては大変だと、誰も娘のもとを訪れる人はいませんでした。そんな中、えいは、一人暮らしのこの娘を気の毒に思い、毎日野菜などを運んだりして彼女の面倒みを看ていました。

ある日のこと、えいが栄一を連れて娘の様子を見にいこうとすると、
「お母さん。僕は嫌だよ。いかねえよ。」といい、栄一は立ち上がりませんでした。
「そんなこと言わずに一緒に行くべえ。あの娘が心配だから。」
と言って、栄一の手をとり出かけていきました。途中、母は、
「人は誰でも好きで病気になっている訳じゃねんだよ。病気になると非常に心細くなるのが人間の常というもの。あの娘は身寄りもなく、一人で病気と闘ってるんだ。近くに住んでいる私たちが力にならなくて誰がなるんだい。」
と言って栄一の手をギュッと握りました。

家に着くと娘は、一人でぼつんと薄暗い部屋の中に座っていました。
「少しだけど、野菜をもってきたよ。気分はどうだい？ 何か心配なことはあるかい？ 早く元気になるんだよ。」
というと、娘はうれしそうな顔をして目に一杯涙を浮かべました。

ある日、娘は気分がよかったので、いつも親切にしてもらっていることへのお礼にと『ぼたもち』を作って栄一の家を訪ねてきました。
「おかみさん、私の作ったぼたもちなんだけど、食べてくれない。」
「てえ、わざわざ作ってくれたんかい？ そんなに具合がよくなっちゃよかったね。ごちそうになるべえ。」

えいは、娘と笑顔で話をしながら美味しそうにぼたもちを食べていました。栄一は、障子のかげからそっと二人の様子を見ていましたが、娘が帰るとすぐに、母に向かって大声を出しました。

「お母さん、そんなもの食べて病気になったらどうするんだよ。」

「てえ、おまえはまだそんなことをいってるんだ。お医者さまも、心配ないとおっしゃいましたよ。ほら、こちらへ来てお前も一つもらって食べな。」

えいは、まだ栄一が人間として一番大切なことを理解できていないのが悲しくてなりませんでした。

この頃、村の鎮守^{ちんじゆ}の鹿島神社の境内には、欒^{けやき}の大木があって、その木の洞^{ほら}の中に井戸がありました。この井戸水は、病気によく効くといわれ、この水を使って共同風呂が作られていました。この風呂には、村の人だけではなく近くの村からも病気を治そうと、多くの人が出てきました。

「お母さん、また行くんかい。」 栄一は、母に声をかけました。

「ああ、そうだよ。あの娘をさっぱりさせてやろうと思ってね。」と答えると、えいは出かけていきました。

えいと娘と一緒に共同風呂にやってくると、それまで風呂に入っていた人たちは、潮^{しほ}が引くようにいなくなりました。中には、

「おえいさん、偉いね。今日もその娘さんの入浴の手伝いかい。余裕のある家はいいやね。」と皮肉をいいながら帰る人もいました。えいはそんなことは気にしないで、
「さあ、背中を流すべ。きっとよくなるよ。さっぱりするべ。」

と娘の背中を流し始めました。

「おかみさん……、すみません……。」

と言って、娘は大粒の涙を流し喜びました。こんな時娘は、本当の「人情の温かさ」を感じていました。



このような母の姿を見て育った渋沢栄一は、のちに「近代日本資本主義の父」として日本経済の発展に寄与しただけでなく、多くの社会福祉事業にも力を尽くしたのでした。

渋沢栄一が実業界に身を投じたのは、日本の国力を充実させ、国を富ませるためには産業を盛んにしなければならない、それが国民を幸せにする道だという考えからでした。少年時代から愛読していた『論語』を拠り所に、民間の事業を発展させようと奔走しました。日本最初の銀行である第一国立銀行を設立後、製紙会社をはじめ、ガス事業、海運業、保険業、紡績業、造船業、セメント業等々、次々と実に500にも上る事業を立ち上げ、近代日本の経済発展に貢献したのです。

「経済と道徳は決して相反するものではない。むしろ道徳の伴わない経済活動に真の発展はない。度量や品性に欠ける人は儲けることだけに走ってしまいがちである。商工業者はお金を扱う仕事だからその危険が大きい。商工業者にとっては、誠の心こそ必要なものであり、信用を得ることが大切だ。」

この考えを栄一は「道徳経済合一説」と呼び、彼の生涯をとおしての哲学となりました。そして、経済の発展には、単なる知識・技術や経験だけでなく、道徳的にも立派な人材でなければ、事業は成功しない。だからこそ人を育てる教育が大切だと考え、多くの学校の設立にも関わりました。

実業家として活躍するかたわら、栄一は、600あまりの社会公共事業にも関わりました。「実業家としての成功は社会のおかげである。その成功者は、恩返しとして、その利益の一部を社会に戻すべきである。」つまり、個人の富の独占を否定し、得た利益を社会に還元しようと栄一は考えたのです。

明治7年（1874）、栄一は東京会議所の取締に就任した際、生活困窮者や身寄りのない子どもや老人を養うために明治5年（1872）に創設された養育院に関わりを持つようになりました。その後初代院長として、91歳で天寿をまっとうするまでの約60年もの長い間、その責任を果たしました。栄一が生涯の中で一番力を注いだのが、この養育院の経営だったともいわれています。この時代、公的な補助が期待できない福祉施設の経営は、非常に困難なものでした。しかし、栄一は院長としてその財政的手腕を発揮したばかりではなく、手がけた各種事業の経営理念が、そのまま養育院の精神的な支柱となりました。

次の話は栄一の晩年のエピソードです。

90歳になった年の12月、栄一は風邪のため床に伏せていました。高齢者の風邪は壮年者の大病にもあたるものですから、一家のものはみな心配していました。するとある日、20名ばかりの社会事業家の代表たちが、栄一に面会を求めてきたのです。栄一はその顔ぶれを聞いて

て、どうしても会うと言いました。主治医や家族のものが止めても聞きいれません。そこで面会時間を5分と決めた上で、来訪者たちを応接間に通しました。

用件は、いま寒さと飢えに苦しむ^{きゆうみん}窮民が20万人もいる。政府は救護法という法律を作ったが、予算がないため一向に救護が実施されていない。どうか栄一の尽力で救護を早急に実施するよう仕向けてほしいというのです。

栄一は深くうなずき、

「私はこの年になるまで、及ばずながら社会事業に尽くしてきたつもりです。皆さんのお心持ちは実によくわかります。老いぼれた身体で、どれだけお役に立つか知れませんが、できるだけのことはいたしましょう。それが私に与えられた義務だと信じます。」

この一言を聞いた来訪者の目には涙が光っていました。それから栄一はすぐに車の仕度を言いつけました。心配したのは、家族のほうです。主治医も熱のある身体での冬の外出は危険であると止めました。しかし、栄一は、静かにこう答えるだけでした。

「先生のお骨折りで、こんな老いぼれが養生していますのは、せめてこういうときの役に立ちたいからです。もしこれがもとで私が死んでも、20万人の不幸な人たちが救われれば、それこそ本望じゃありませんか。」

主治医も家のものも返す言葉がありませんでした。そして栄一は出かけて行ったのです。

人が純粋な気持ちで人のために尽くす。老年の栄一の心は、美しく、そして青年のように爽やかに輝いていたのです。



栄一は国の内外から惜しまれながら、昭和6年（1931）11月11日にこの世を去りました。よく晴れ渡った大空の太陽が、美しく輝きながら地平線にゆっくりと沈んでいくような大往生でした。栄一の霊前に飾られた、養育院の子どもたちなどから寄せられたお見舞いやお悔みの手紙の山は、人々の目にとっても印象深く映ったのでした。

参考：渋沢秀雄『渋沢栄一』（渋沢青淵記念財団竜門社）
矢野 功『人間渋沢栄一』（渋沢青淵記念財団竜門社）
堺 正一『埼玉の三偉人に学ぶ』（埼玉新聞社）



Let's think!

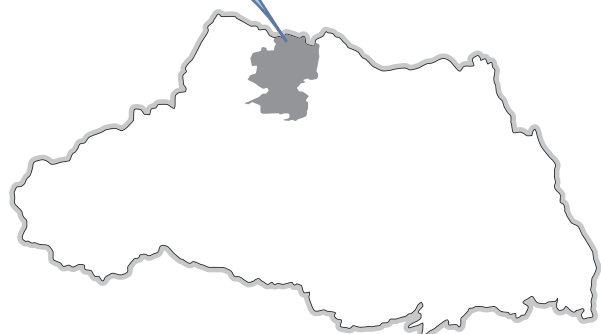
- 娘が作った「ぼたもち」を食べる母親を見たときの栄一の心境はどのようなものだったのでしょうか。
- 共同風呂へ行った時の周囲の人の反応について、あなたは、どう考えますか。
- あなたは、差別や偏見、いじめ等をなくすためにどのような行動が大切だと思いますか。
- 商売に関わる人たちの心構えを、渋沢栄一はどのように考えていたのでしょうか。
- 渋沢栄一の人生から、あなたが学んだことは何ですか。
- あなたにとって、社会貢献とはどのようなものですか。

Check It!

渋沢栄一記念館

渋沢栄一の生涯を紹介した年表や当時の写真、伝記資料、貴重な肉声テープ、直筆の軸や手紙などが展示され、館外に銅像があります。

交通 JR高崎線深谷駅より
市内循環バス栄一記念館下車
住所 深谷市下手計 1204
電話 048-587-1100
開館時間 9:00～17:00
休館日 火曜日（祝日の場合は翌日）
年末年始
入館料 無料



31 法の整備はどこまで必要か？

太郎：先週、テレビのニュースや新聞で「不正競争防止法」が取り上げられていたね。

花子：魚や肉などの産地偽装問題があると、安心して食品を口にできなくなってしまうから私たちにとっては大きな問題よ。

太郎：僕は将来、法律を学びたいと思っているんだけど、日本にはいろいろな法があるんだよ。図書館のコーナーには、六法全書や教育に関する法律の本がいくつか並んでいたんだ。僕は3つぐらいしか知らなかったから、驚いたよ。君は何か知ってる？

花子：そうね、私は理系だし、法そのものを普段考えたことがないからよく分からないわ。でも、基本三法といわれている日本国憲法、民法、刑法でしょ。それから商法、刑事訴訟法、民事訴訟法、それから……。

太郎：えー、そんなに知ってるの！　すごいよ！

花子：先生が総合的な学習の時間で話していたことだけど、日本には1,800種類ぐらいの法があるそうよ。その他にも、内閣が制定する政令や各省庁が制定する省令、さらに地方公共団体が制定する条例などをあわせたら、その数は相当多いのでしょうね。

太郎：ある意味、僕たちの身の回りは法だらけなんだね。何だか面白くなってきた！でも勉強が大変そうだし、そこのところはちょっと気が重いな。だけど、法がどんどん整備されていくってすごいことだね。ひとつの法を作ることって、ものすごく大変な作業なんだろうけどね。

花子：法がきちんと整備されているというイメージは、とってもいいわ。安心して暮らせるイメージがあるわ。

太郎：ところで、法の数は数えられないほどあるんだけど、どうしてそんなに必要なんだろう。全てが必要なのかな？無くていいものもあると思うけれど、どうかな。

花子：そうねえ。でも、喫煙に関する法なんかは賛成だわ。父がタバコを吸うので、早く法で禁止してほしかったのよ。第一、体に悪いし、部屋の洋服にもたばこの臭いがついちゃうし、いいことないんだもの。何度もやめてって頼んだけど、だめだったわ。それに、通学するときだって、駅付近の歩きタバコは、本当にいやだったわ。

太郎：たしか、歩きタバコを禁止した条例があったような気がするんだけど……。インターネットで検索してみよう。これだ！「A市の生活環境の整備に関する



る条例」。

これによると、「住民から指定要望のあったB市駅周辺など歩行者の特に多い9地区を路上禁煙地区に指定。違反したら2千円の過料。スタート1年間で過料を科せられたのは約5,500人で、1年後の吸い殻は、定点観測で1割以下に減った。」とあるよ。すごい効果だね！この条例は成功だね！

花子：そうね！罰金が効いたのかしら。でも私、少し考えちゃったわ。

太郎：どうしたの？ 難しそうな顔して？

花子：それはね、法の整備は素晴らしいことだと思っていたけど、法がないと変わらないということなの。だって、タバコが健康に良くないことはもう誰もが知っていることでしょ。しかも副流煙にこそ発ガン性物質がたくさん含まれていて、周りの人が悪い影響を受けてしまうことだって知られていることよ。吸い殻のポイ捨てだって、それがいいと思っている人はいないと思うわ。それなのに駅の周囲にはたくさんの吸い殻が落ちていて、商店街の人々が毎日掃除しているのよ。

太郎：確かにそうだね。喫煙者は恐らくポイ捨てが良くないことを知っていると思うよ。なのに、信号待ちやバス待ちでは吸っている人が目に付くよね。なかにはポケット吸い殻入れを持っている人もいるけど、だからといってどこでも吸われると困るよね。それに、大学のオープンキャンパスに出かけたときのことだけど、吸殻がいっぱい落ちていたよ。

花子：なんだかがっかり。そうそう、この前車で出かけたときのことだけど、車線規制があって道路が渋滞していたの。どうしたのかしらと思ったら、中央分離帯の清掃をしていたんだけど、清掃作業を見てびっくり！空き缶や、コンビニの袋に入ったゴミ、雑誌なんかですごかったわよ！



太郎：そのうち“空き缶ポイ捨て禁止条例”なんて作られるかもね！

ネットで調べてみようか。えー、もうあるよ！すごい数、ヒットしたよ！

花子：ホントに頭が痛くなってきたわ。どうしてダメだとわかっているのに、やる人がいるのかしら。それに関する事は、その他にもたくさんありそうよ！

太郎：そうだね。社会には、法でしか解決できないこともあると思う。だけど、法が無くても解決できるようにしなければならないこともあるよね。



Let's think!

- 本人は良くないことと知りながら行ってしまうことに、どんなことがあるでしょうか。
- 社会生活をより良いものにして気持ちよく生きるためには、各自がどのようなことに取り組むべきでしょうか。



大丈夫？ あなたの規範意識！

最近、規範意識の低下が問題になっています。残念なことに自分だけ良ければいいという、身勝手な行動をしてしまう人が多くなっているのでしょうか。

いろんな価値観を持つ、様々な人々が共に暮らす社会。お互いが楽しく豊かな気持ちで、充実した毎を送れるようになるためには、人として、守るべきこと、してはいけないことが必ずあります。

暴力やいじめ、絶対ダメ！人を傷つけることは許されません！

私たちに、自分の気持ちをしっかりと相手に伝えることができるコミュニケーションの能力があります。トラブルが発生した場合は、話し合えばいいのです！

相手の言葉や行動が頭にきたので、暴力をふるう。気に入らないという理由だけで、相手を集団でいじめる。そのような卑怯な行為は、絶対にNO！です。

社会に共に生きる者として、身勝手な行為は許されません！

人は、他人との信頼関係の中で生きています。嘘をついたり、物を盗んだり、約束を破ったりすることは許されません。

相手をだます。店員の目をごまかして商品を盗む。駅前に置いてあった他人の自転車を、勝手に乗り回す。他人の財布を盗んでしまう。これらのことは、明らかに犯罪です。

人としての信頼を失う行為、絶対にNO！です。

公共の物は、みんなの財産。みんなで守る責任があります！

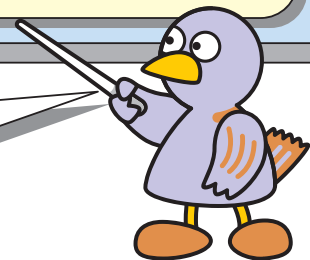
公共の物を、傷つけたり、汚してしまう行動が見られます。公共の建物や壁などに平気で落書きをする。自分の出したゴミを、公園や道端などに気軽にポイ捨てる。自分の怒りのはけ口として公共物や他人の所有物を破壊する。

自分さえよければ、自分の気が晴れば……、そんな身勝手、絶対にNO！です。

社会で許されないことは、高校生にも許されない！

「ダメなものはダメ！」なのです。

みんなで守ろう！私たちの共生社会！



33 心のほっとレター ～公德心を考えよう～

次の手紙は、一般の方から、県内の公立高等学校宛に送られてきたものです。

路線バスの中で ～集団で整然と乗車している高校生たち～

拝啓

梅雨の候、貴校におかれましては、教育の充実への取組に益々ご尽力されている事と拝察申し上げます。

さて、先日お電話させて頂きましたのは、貴校バレー部女子部員の路線バスでのマナーについて、乗客の一人として感心させられた旨をお伝えしたかったからでございます。

5月30日（土）の昼頃、停留所にさしかかった時、大勢の女子生徒が待っておりまして、瞬間、バス内で大騒ぎされるのでは……と内心穏やかではありませんでした。と申しますのは、一般的傾向として、同年代の多くの人が、バス内でお祭り騒ぎをするケースを繰り返し見てきたからです。

ところが、乗車する時から大宮駅で下車するまで、若干会話をしていたようですが、他の乗客に迷惑をかけず、整然と静かに乗車しておりました。

今の時代、若い人たちにいくらマナー・ルール等を守る事を指導しても大人社会がこれだけ乱れているため大変ご苦労が多いのでは……と推察致しております。

当たり前の事が当たり前にできない今の時代に些細な事かも知れませんが、私には、このような模範的な行動ができる生徒がまだいる事に安堵した次第です。

教頭先生のお話では、今年度の学校の目標に「あいさつ・マナー・身だしなみ」を掲げていると伺いましたが、校外でそれを実践できる生徒さんに、日頃の教育・指導の在り方のお手本を見た思いが致します。

若者ですから少々脱線する事があっても良いと思いますが、時々状況をみて己のとるべき行動を判断し実践する力量は、指導方法によって身に付けられる好例のように思います。

貴校の益々のご活躍をご祈念申し上げます。

校長先生、そしてバレー部の顧問の先生にもよろしくお伝え下さい。 敬具

埼玉県教育委員会『心のほっとレター』より

バスや電車内でのマナーの悪さ、路上での空き缶やゴミのポイ捨て、道いっぱい自転車に広がって道を開けようもしない、など、「公德心のない人」が増えていると言われてい

る現代社会の中で、どこか心が温まるお手紙ですね。

私たちが、この社会で生きていく上で、他者への配慮や思いやりを大切にし、自らの在り方や生き方を考えることは当然のことです。

次の手紙も、一般の方から送られてきたものです。

電車の中で ～心遣いのあたたかさを～

過日、娘と二人で電車に乗りました。娘と二人で出掛けるのは、久しぶりのことでした。電車に乗ると空席がいくつもありましたが、どれも一席。二人で座ることはできませんでした。と申しましても、とりわけ娘と二人で座らなければならないわけではなく、娘に促されるまま私が座席に腰をおちつけ、私の前に娘が立ったその時です。

「もしよろしければ、こちらへどうぞ。」

向かい側に座っていた高校生が声をかけてくださいました。

あまりのことに、驚いていると、

「お二人で座れますから。」

とおっしゃって、さっと席を立ててくださったのです。

これまで、席を譲った事はあっても譲られたことはありませんでした。また、席を譲られるのは、高齢者の方や不自由な方、妊婦の方などそれなりの理由がある方々と思っていました。それが人間としての当然の行いと思って今日まで生きてきました私にとりまして、はっとする出来事でした。

きっと、あの高校生は私たち親子二人を見て、一緒に座らせてあげたいとお心にかけてくださいたださったのだらうと思います。

高校生の心遣いが嬉しく、

「ありがとうございます。あなたのお気持ちをいただきます。」

と、そのまま甘えさせていただきました。

「素敵な方ね。」と娘の声。電車の中は、あたたかなひと時が流れました。

埼玉県教育委員会『心のほっとレター』より

お互いに手を差し伸べ合い、「どうぞ」、「ありがとう」という気持ちを持って触れ合うことで、私たちの社会に「絆」が生まれます。自分自身を大切にすることはいうまでもありませんが、それと同時に他人のことも大切にすることで、私たちの社会は今よりもっと彩り豊かなものになっていくはず。それこそ、まさに“彩の国”にふさわしい姿でしょう。この大切なことを、県内の高校生たちが、教えてくれたような気がします。



Let's think!

- 自分の身の回りや、社会全体の公共のマナーを振り返って見ましょう。問題点をあげながら、改善するためにどうすればよいのか考えてみましょう。
- 社会の「絆」とは、どのようなものなのかについて考えてみましょう。

35 首賭け銀杏 ～日本の公園の父、本多静六博士～

「専門家の植木屋が絶対無理だというのに、君はあの大銀杏を無事に移植することが出来るというのか。保証できるというのか。」

星亨市会議長の横柄なもの言いに、

「それなら私の首を賭けましょう。」

つい生来の負けん気の強さから答えてしまったが、静六の中では始め針の先ほどだった不安が、風船をふくらますように次第に大きくなっていった。

日本で初めての西洋式公園である日比谷公園の設計を、本多静六博士が引き受けることになったのは、明治三十三年の秋、三十五歳の時であった。たまたま建築家として高名な、辰野金吾博士のもとを訪れたことが、きっかけとなった。

辰野博士は建築家としてはすでに名前が知られていたが、公園の設計などは全くやったことがなかったのである。いや、そもそも当時の日本では、西洋式公園の設計などやったことがある者は、誰一人としていなかったのである。

辰野博士が設計図を引くのに苦勞しているところへ、たまたま東京府の水源調査の関係で、林学が専門の静六が行き会わせたのである。静六とて、森林の管理については専門であるが、公園の設計については経験がなかった。にもかかわらず、少しばかりヨーロッパで見聞してきた公園に対する知識を、ひけらかしたのがいけなかった。

「いや、何といっても近代日本の象徴となるべき公園だから、市会もなかなか承知しなくてね。今までも庭師⁽¹⁾やお茶の宗匠⁽²⁾やら幾人かが設計したんだが、いずれも没になった。君はドイツに留学して、西洋の公園についても随分知識があるようだね。」

「いや、それほど多くを知っているわけではありません。いくつかの公園を見たり、公園関係の本を何冊かは持っているといった程度で……。」

「いや実は私も困っているんだ。私に代わって是非とも君に、この公園の設計をお願いしたい。私の方から松田市長へは話をしておくからよろしく頼むよ。」

という次第で、新しい公園の設計を押し付けられるようにして、引き受けることになってしまったのである。

実際公園の設計を引き受けてみると、考えていた以上に色々と面倒なことが起こってきた。今まで日本には存在しなかった西洋式の公園ということで、なかなかその理念が人々に理解されなかったのである。

市会に設計案を提出したところ、「なぜ公園の入口であるそれぞれの門に、扉を付けないのか。西洋ならよいかもしれないがここは日本だ。夜も開けっぴろげにしていたら、植木や花を盗まれてしまうのは必定だ。」と散々攻撃された。

「公園の花や植木が盗まれなくらいに、国民の公德心を高めることも、こうした公園建設の目的の一つだと考えます。人びとが花に飽きて、盗もうという気が起きないくらい、たく

さんの花々を植えればよいのです。」

と、反論すると今度は、

「この公園にはかなり大きな池が造られるようだが、身投げの名所になりはしないか心配だ。池はやめた方がよいのではないか。」

という反対意見もでた。

こうした意見に対しては、池の周囲二メートルばかりを浅瀬にしたり、池の縁から飛び込むのが難しい構造を工夫したりもした。

さらに緊縮財政の折、市は当初の予算を大幅に減らしてしまった。これではまともな植木をそろえることもできない。静六は、自分が教授を務めている帝国大学農科大学⁽³⁾から、不要な苗木をほとんどただ同然で払い下げてもらい、植えつけることにした。小さな苗でも、十年もすれば少しは見栄えのする木立となっているはずだ。彼は自ら現場に立ち、人夫たちの陣頭指揮に飛び歩いた。

自分から望んで引き受けた仕事ではなかったが、この公園が人々の憩いの場となり、文化の向上に寄与することを想像すると、静六は何かわくわくするものを感じ、公園造りに生き甲斐を感じるまでになっていた。これがきっかけとなり、後には氷川公園（現在の^{ひかわ}大宮公園）を始め、二百を超える全国の公園の設計・改良事業を行うまでの公園設計の第一人者になっていくのである。



公園の整備が進んでいた頃、日比谷通りの拡張が決定され、邪魔になる大銀杏が切り倒されることになった。ちょうど職人が木に登り、枝を切り下ろしているところに静六は出くわした。

「これは一体どういうことかね。市からは何の話も聞いていないが……。」

木の下で指図している親方とおぼしき男に尋ねると、

「なに旦那、この銀杏を移すという話だったんですが、こんな馬鹿でけえやつを植え替えそうにも植木屋がとても無理だってんで、あっしらに四十九円⁽⁴⁾で払いさげになったんでさあ。なんとって胴回りが二十尺を超える代物ですから、薪^{まき}にしようにも上に登って少しずつ切り落としてからじゃねえと伐れねえもんで……。」

「何だって！薪にしてしまうのか。優^{ゆう}に樹齢四百年は超えるというこの銀杏を伐ってしまうのか。なんて乱暴な。頼むからちょっと伐るのは待ってくれ。僕が市役所に行って交渉してみる。必ず買い戻すから伐るのはしばらく待ってくれないか。」と、言うが早いか市役所に駆けつけ、急用だからと取り次ぎも押しのけ、星市会議長と直談判ということになったのである。

星議長は静六が首を賭ける、と言うのを聞くやにわかにか口元に笑いを浮かべ、

「それほどに自信があるのなら、やって貰いましょう。金はいくらでも出します。」

と静かに言った。

かつて静六は、ある屋敷で伐られて逆さまにされていた銀杏が芽を出し、根付いているの

を目にしたことがあった。その時の感動が、無意識に無鉄砲とも思える言葉を吐き出させたのかも知れない。

いずれにせよ後には引けない。できなければ大恥をかき、本当に自害せざるを得ない状況になってしまうかもしれない。

静六は十七歳で東京山林学校⁽⁵⁾へ入学した頃のことを思い出していた。父親が借財を残し死んでしまったため、河原井村（現在の久喜市）の静六の生家は貧しい暮らしを余儀なくされていた。それでも家族みんなが、爪に火をともしような暮らしの中から、彼のために学費を捻出してくれていたのである。

ところが、一学期の試験で代数と幾何学に落第してしまった。兄や母、家族みんなの苦勞を無にしてしまった情けなさに、真っ暗な気持ちになり、気がつくとき寄宿舍の裏の古井戸の所まで来ていた。

「いっそのこと死んでお詫びをしよう。」

と、井戸に入りかけたが、どうにも飛び込めない。いざとなると怖くて手が井戸の縁からどうしても離れないのだ。

涙で遠くの明かりがかすんで見える。その時、上京するとき励ましてくれた祖父の言葉が脳裏に浮かんだ。

「塙保己一^{はなわほきいち}は盲目でありながら、六百六十巻余の『群書類従』^{ぐんしよるいじゅう}その他を著したのだ。お前だって、保己一以上の勉強を続けたならば、もっと大きな仕事ができるはずじゃ。」

静六は死ぬのを思いとどまった。その後死んだつもりで勉学に励んだのは、いうまでもない。その甲斐あって、五十番中五十番の最下位で入学した静六であったが、進級時には主席となり銀時計をもらうほどになっていた。

「大丈夫、あの銀杏は絶対に根付く。とにかくやってみよう。」

不安な気持ちが黒雲が晴れるようになってしまった、といったら嘘になる。「もしもうまく根付いてくれなかったらどうしよう。」という気持ちは、^{みつしよく}払拭しきれたわけではないが、とにかく最善を尽くしてみよう。懸命に努力する者には、人が力を貸し、天が味方してくれるものだと、吹っ切った。

彼は自ら指揮を執り、大銀杏の日比谷公園への移植に取り組んだ。樹高約二十二メートル、幹回り約六メートル、樹齢推定四百年の巨木である。四百メートルの距離を移動するのに二十五日を費やし、ついに移植を終えた。

翌年の春、美しく芽吹いた銀杏の下に、幹を優しくたたきながら、^{こずえ}梢を見上げる本多静六博士がいた。その後も博士は近くを通るたび、必ずこの木の下に立ち寄り、幹をたたきながら何かを語りかけていたという。



日比谷公園内にある「首賭け銀杏」

- (1) 庭師：庭造りやその手入れを専門とする人。
- (2) お茶の宗匠：茶道の師匠。
- (3) 帝国大学農科大学：東京大学農学部のもととなった学校。
- (4) 四十九円：現在の貨幣価値で98万円ほど。
- (5) 東京山林学校：東京大学農学部のもととなった学校の一つ。

参考：本多静六『本多静六自伝 体験八十五年』（実業之日本社）
『本多静六通信』（本多静六博士を記念する会編）



Let's think!

- どうして自分の首を賭けてまでして、本多博士は銀杏を伐らせなかったのでしょうか。
- 日比谷公園の設計を引き受けた後、様々な困難が持ちあがりますが、それを解決できたのはどうしてだと思いますか。
- 本多博士は芽吹いた銀杏に何を語りかけていたのでしょうか。



写真提供：久喜市

本多静六（1866～1952）

久喜市（旧菖蒲町）生まれ。日本最初の林学博士となり、近代林学の基礎を築いた。「日本公園の父」と称される。

明治神宮の森の造営、日比谷公園、大宮公園等全国各地の都市公園の設計を手がけるなど、近代的な造園技術の発展に数多くの功績を残した本県の郷土の偉人の一人。

私財を投じて取得した秩父、中津川の山林 2,631.52ha を昭和5年、県に寄付した。ここから生ずる収益をもとに昭和29年、「本多静六博士奨学金」が設けられ、平成20年7月末日現在までに1,600人を超える学生に貸与されている。

Check It!

本多静六記念室

本多静六の肖像画をはじめ、写真や自筆の手紙、衣類や著作などが展示され、博士の人柄や業績などを知ることができます。

交通 JR高崎線桶川駅からバス「菖蒲車庫行き」またはJR宇都宮線久喜駅からバス「菖蒲仲橋」下車
住所 久喜市菖蒲町菖蒲85-1
電話 0480-87-1377
開館時間 9:00～17:00
休館日 水曜日、年末年始
入館料 無料



埼玉県の高校生が選んだ心に残る本の紹介

ふと何気なく手にした一冊の本から人の喜びや悲しみを知り、夢や希望を抱き、人生の針路を見出すことがあります。そうした本との出会いは一生の財産となり、私たちの生きる力や楽しみのもとになるものです。

下に紹介された本は、県内の高校生から推薦されたものをまとめたものです。ぜひ、読んでみて下さい。



作 者	題 名	出版社
市川 拓司	『いま、会いにゆきます』	小学館
瀬尾まいこ	『幸福な食卓』	講談社
西 加奈子	『さくら』	小学館
灰谷健次郎	『太陽の子』	角川書店
赤川 次郎	『ふたり』	新潮社
木藤 亜也	『1リットルの涙』	幻冬舎
片山 恭一	『世界の中心で、愛をさけぶ』	小学館
加藤 浩美	『たったひとつのたからもの』	文藝春秋
佐藤 律子	『種まく子供たち』	ポプラ社
すずらの会	『電池が切れるまで』	角川書店
橋部 敦子	『僕の生きる道』	角川書店
乙武 洋匡	『五体不満足』	講談社
森 絵都	『カラフル』	理論社
大平 光代	『だから、あなたも生きぬいて』	講談社
吉本ばなな	『TUGUMI』	中央公論新社
河崎 愛美	『あなたへ』	小学館
乙 一	『失はれる物語』	角川書店
綿矢 りさ	『蹴りたい背中』	河出書房新社
村山 由佳	『天使の卵』	集英社
木村 裕一	『あらしのよるに』	講談社
重松 清	『きみの友だち』	新潮社
あさのあつこ	『バッテリー』	角川書店
恩田 陸	『夜のピクニック』	新潮社
梨木 香歩	『西の魔女が死んだ』	新潮社
宮部みゆき	『ブレイブ・ストーリー』	角川書店
池田香代子	『世界がもし100人の村だったら』	マガジンハウス
ガブリエル・セヴィン	『天国からはじまる物語』	理論社
サン・テグジュペリ	『星の王子さま』	岩波書店
アンネ・フランク	『アンネの日記』	文藝春秋
カミュ	『異邦人』	新潮社
ドナ・ウィリアムズ	『自閉症だったわたしへ』	新潮社
オグ・マンディーノ	『十二番目の天使』	求龍堂
ミヒャエル・エンデ	『モモ』	岩波書店

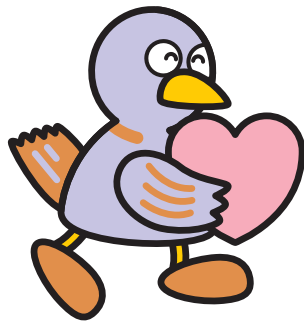
埼玉県教育委員会『高校生が選んだ「推薦図書100選」』より

「明日をめざして」

高校生のための「人間としての在り方生き方に関する教育」

- 監 修 尾田 幸雄 お茶の水女子大学名誉教授
高島 元洋 お茶の水女子大学大学院教授
押谷 由夫 昭和女子大学大学院教授
蛭田 政弘 文教大学教授
鈴木 賢一 元埼玉県道徳教育研究会会長
- 協 力 堺 正一 立正大学教授
- 挿 絵 埼玉県立川越女子高等学校美術部の皆さん

発行 埼玉県教育委員会（平成22年3月発行）
編集 埼玉県教育局県立学校部生徒指導課
〒330-9301 さいたま市浦和区高砂3-15-1
電 話 048-830-6906
F A X 048-830-4952
メー ル a6740@pref.saitama.lg.jp（代表）



埼玉県のマスコット コバトン

